

健康被害救済制度の運用改善等に関するアンケート調査結果報告書 (概要版)

令和3年3月9日



健康被害救済制度の運用改善等に関するアンケート 調査概況

1 調査の目的

健康被害救済制度における救済給付の手続きなどについて、受給者のニーズ等を踏まえて制度運用面の改善や一層の充実に向けた検討を行い、今後、本制度を利用される方々の利便性の向上と制度利用の促進に繋げていくために実施。

2 調査の対象者

過去3年間に支給決定通知書を送付した「医療費」、「医療手当」、「遺族一時金」及び「葬祭料」の受給者、及び障害年金、障害児養育年金及び遺族年金の受給者。

3 調査の時期

令和2年8月上旬～同年10月下旬。

4 調査の方法

対象者にアンケートを送付し、書面によるアンケート調査およびWebによるアンケート調査。

5 調査の内容

調査の内容は、「救済制度運用に係るアンケート調査」を大別すると次の6つの事項に分けられる。

- ①救済給付の種別について
- ②救済給付に係る請求から支給までの手続きについて
- ③健康被害を受けた方の健康状態、治療状況等について
- ④精神面などに関する相談及び受給者カードについて
- ⑤現在の救済制度について
- ⑥救済制度への意見

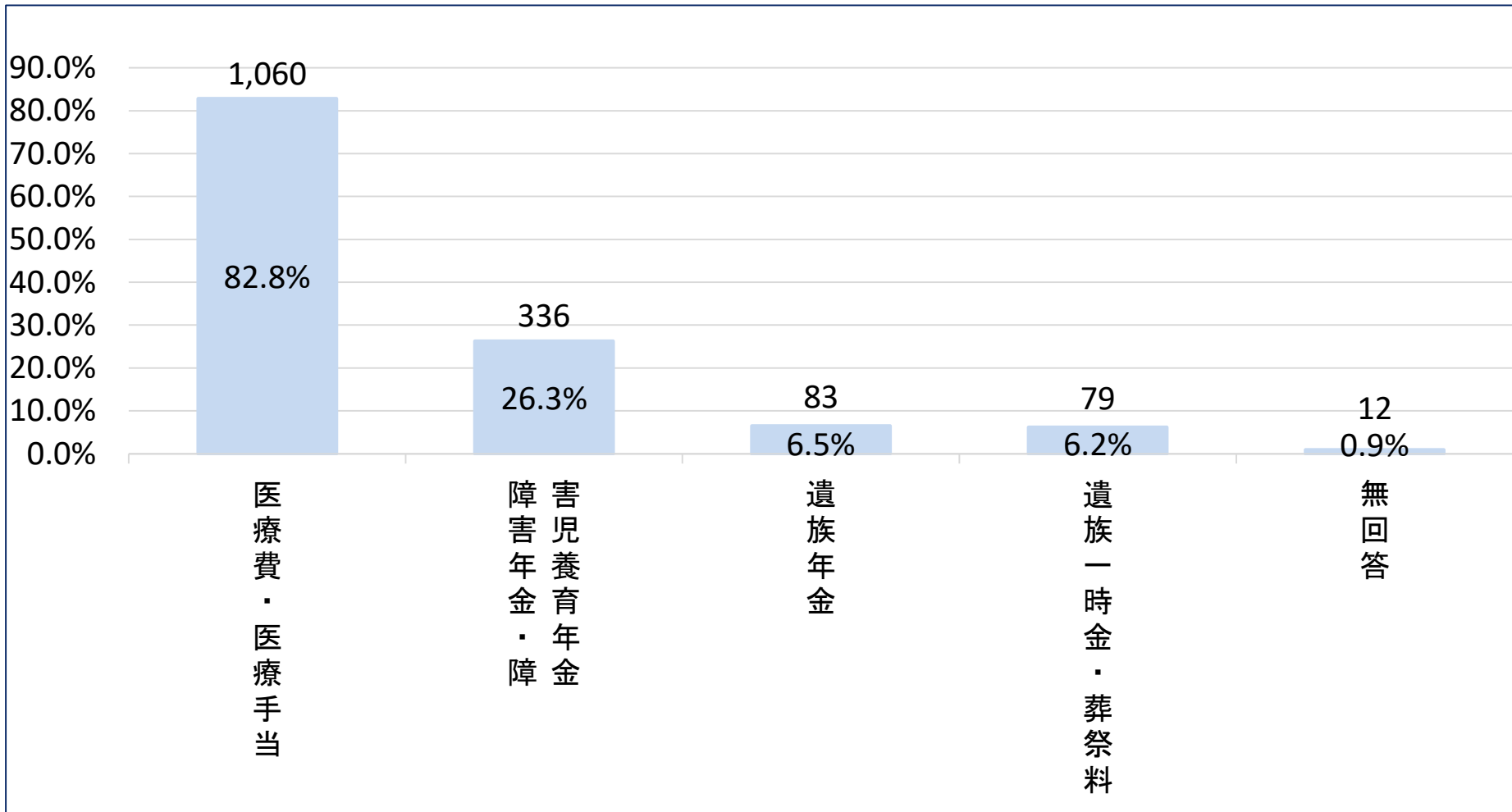
6 調査票の回収状況

対象者数	3,903人
アンケート送付者数	1,500人
有効回答	1,280件(アンケート送付者に対する回収率 85.3%、対象者数に対する回収率 32.8%)
(書面での回答	941人)
(Webでの回答	339人)




①救済給付の種別について

支給決定された、又は受給されている給付の種類 【複数回答】



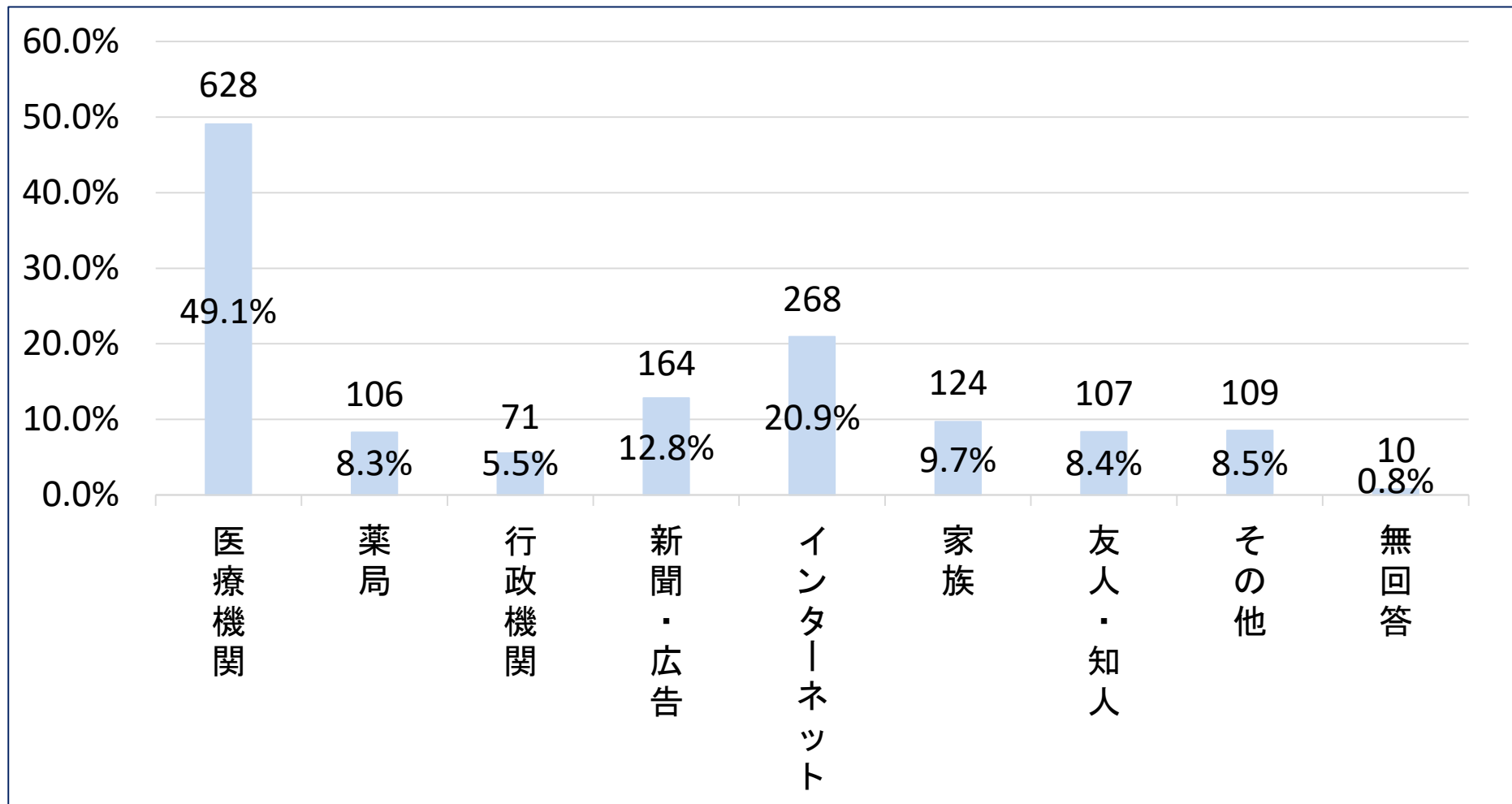
救済給付の種別、回答者1,280人

医療費・医療手当は1,060人で82.8%、障害年金・障害児養育年金は336人で26.3%、遺族年金は83人で6.5%、遺族一時金・葬祭料は79人で6.2%。



②救済給付に係る請求から
支給までの手続きについて

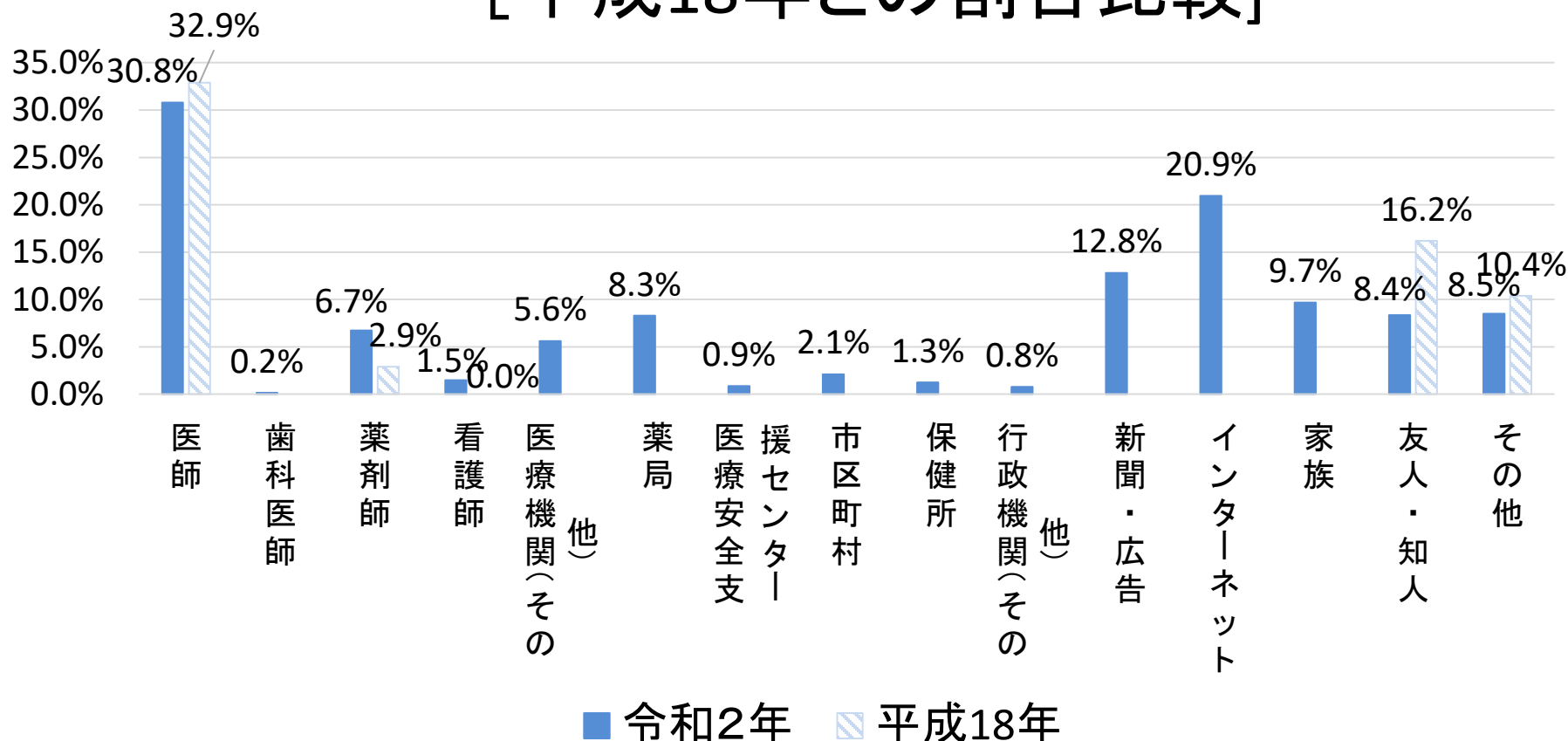
医薬品副作用被害救済制度をどのように知ったか 【複数回答】



医療機関が628人で49.1%、薬局が106人で8.3%、行政機関が71人で5.5%、新聞・広告が164人で12.8%、インターネットが268人で20.9%などとなっている。

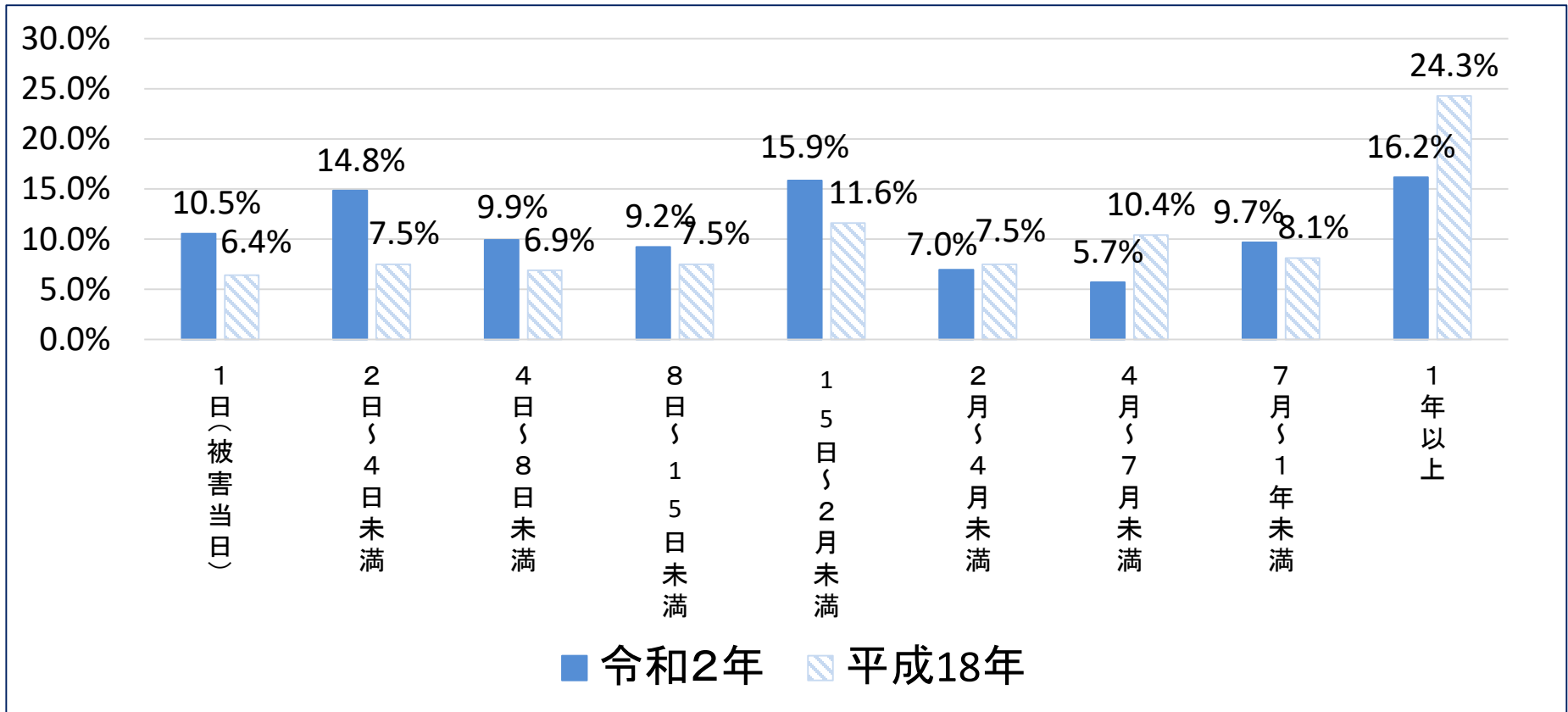
医薬品副作用被害救済制度をどのように知ったか 【複数回答】

[平成18年との割合比較]



平成18年の調査結果と比較すると、医師の割合が減少しているが、薬剤師、看護師など医師以外の医療従事者、薬局、新聞・広告、インターネットなど、他から知り得る機会が増加している傾向が窺える。

医薬品の副作用による健康被害が起きてから、医薬品の副作用であるという診断が付くまでの期間【複数回答】

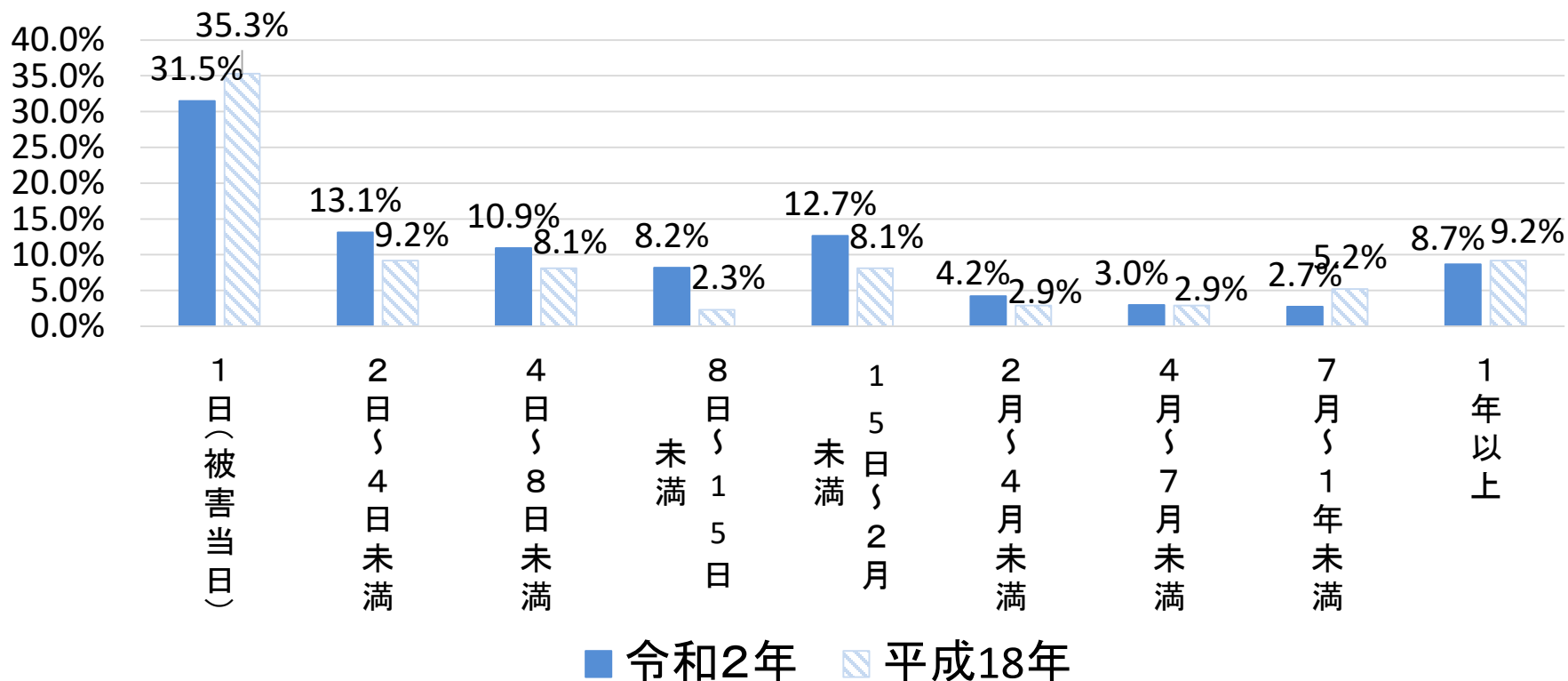


健康被害が起きてから医薬品の副作用であるという診断が付くまでの期間は、今回の調査では1年以上が16.2%、15日～2月未満が15.9%、1日(被害当日)が10.5%などとなっている。

平成18年の調査結果と比較すると、1年以上の割合が大幅に減少し、短期間で診断が付いた割合が増加している。

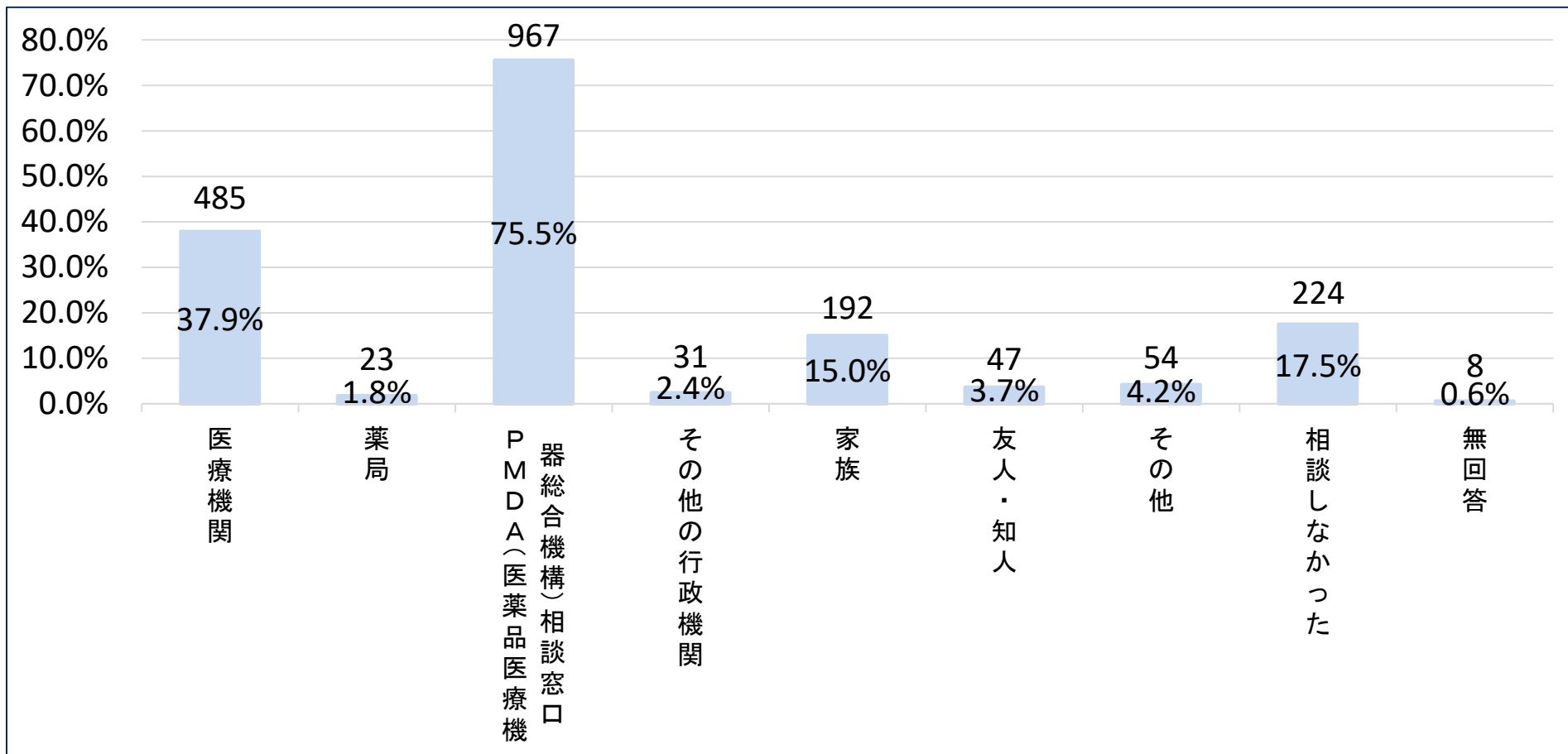
医薬品の副作用による健康被害が起きてから、原因と思われる医薬品の使用を続けた期間

[平成18年との割合比較]



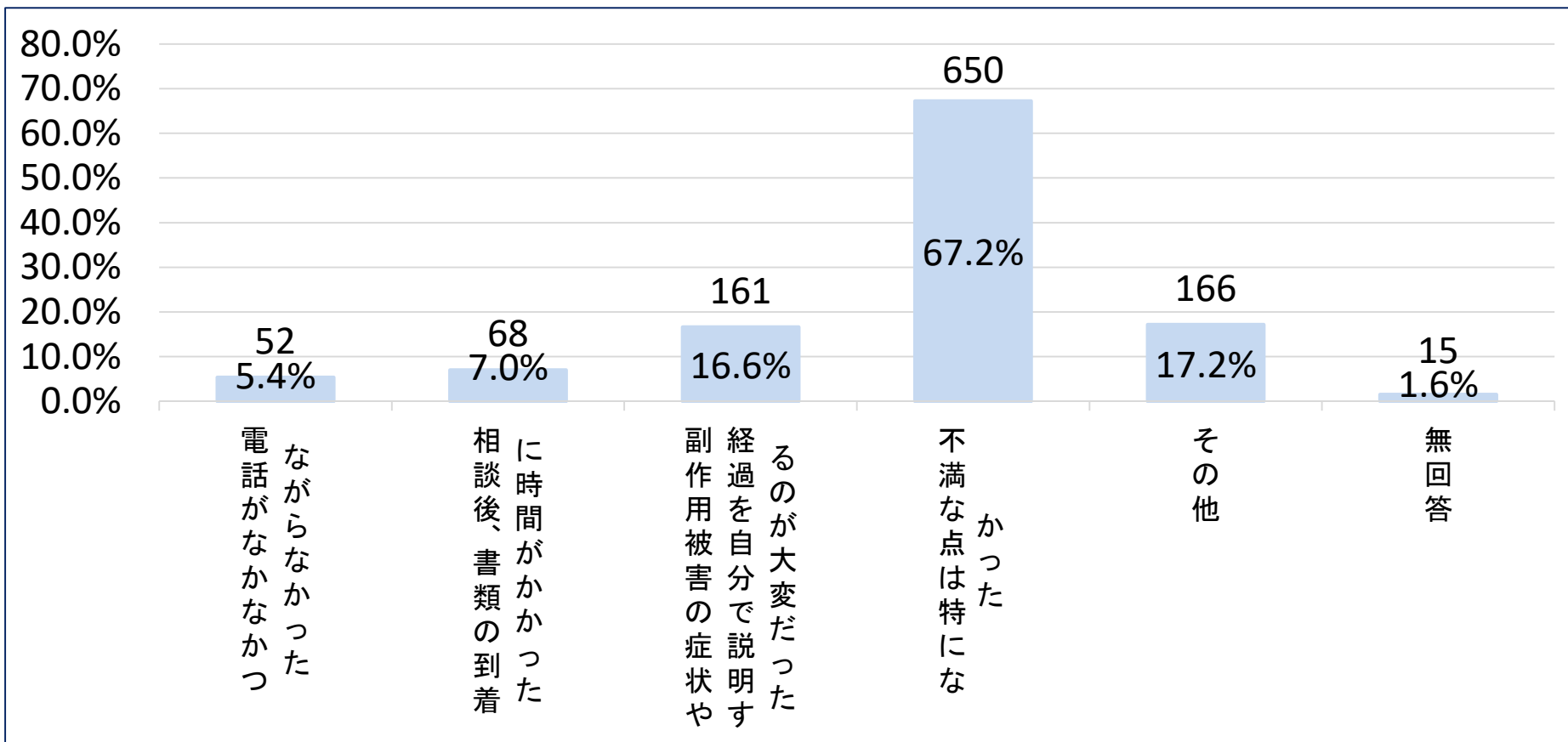
健康被害が起きてから原因医薬品の服用を継続した期間については、1日(被害当日)31.5%、2日～4日未満が13.1%、15日～2月未満が12.7%、1年以上が8.7%などとなっている。平成18年と比較すると、7月以上の長期間の服用が減少、比較的短期間で服用で終わっているケースの割合が増加しており、服用継続期間については短縮化の傾向が窺える。

給付請求手続きや書類の書き方についての相談先 【複数回答】



給付請求手続きや書類の書き方をどなたかに相談したかについては、医療機関が485人で37.9%、薬局が23人で1.8%、PMDA(医薬品医療機器総合機構)相談窓口が967人で75.5%、その他の行政機関が31人で2.4%などとなっており、アンケート回答者の7割以上がPMDA相談窓口を利用している。

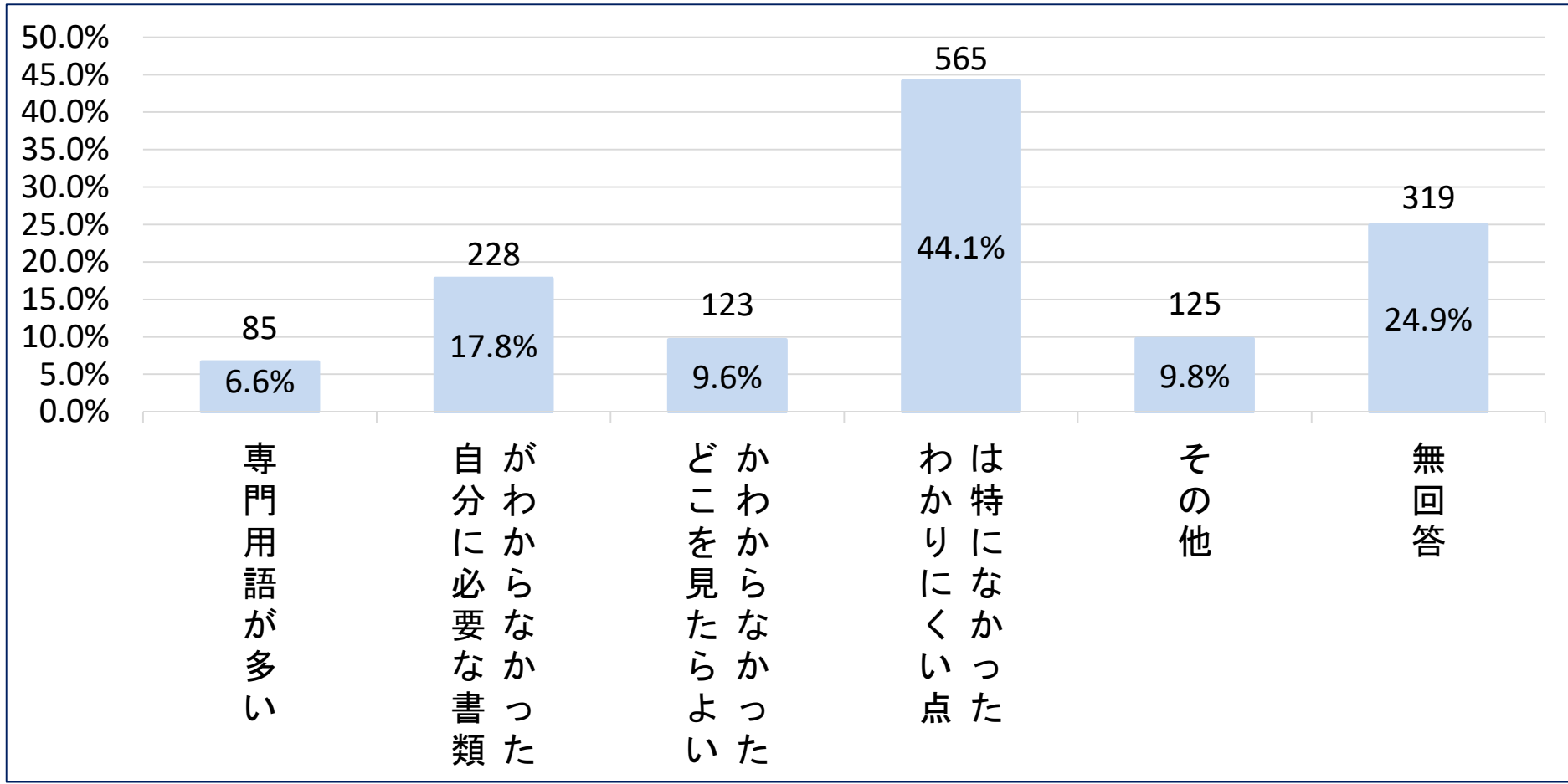
PMDAの電話相談窓口について困ったことや不満だった点 【複数回答】



PMDA相談窓口にお問い合わせをした967人において、PMDAの電話相談窓口に関して困ったことや不満だったことについては、電話がなかなかつながらなかったが52人で5.4%、相談後、書類の到着に時間がかかったが68人で7.0%、副作用被害の症状や経過を自分で説明するのが大変だったが161人で16.6%、不満な点は特になかったが650人で67.2%などとなっている。

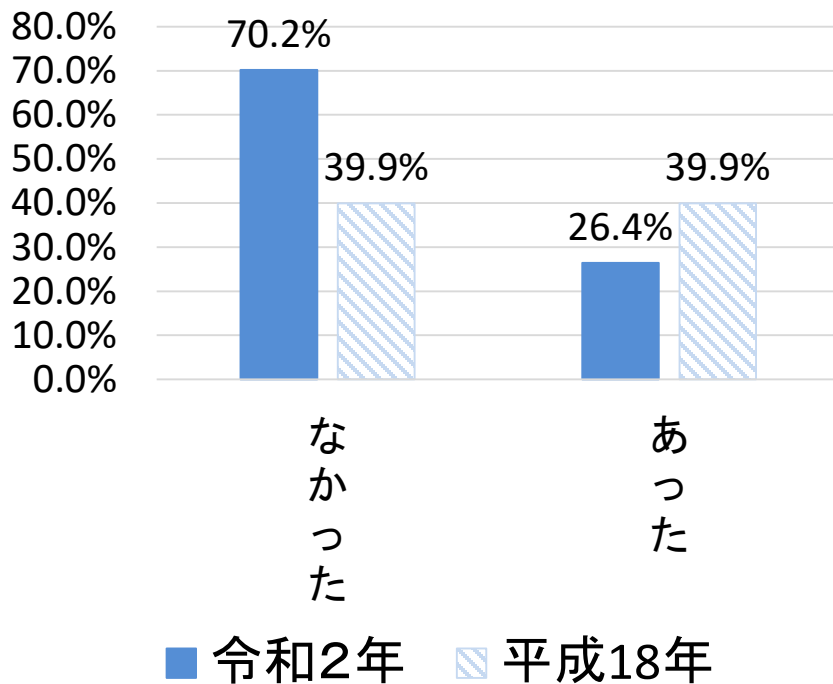


PMDAのホームページでの手続き等の案内について、わかりにくいと思われたもの 【複数回答】

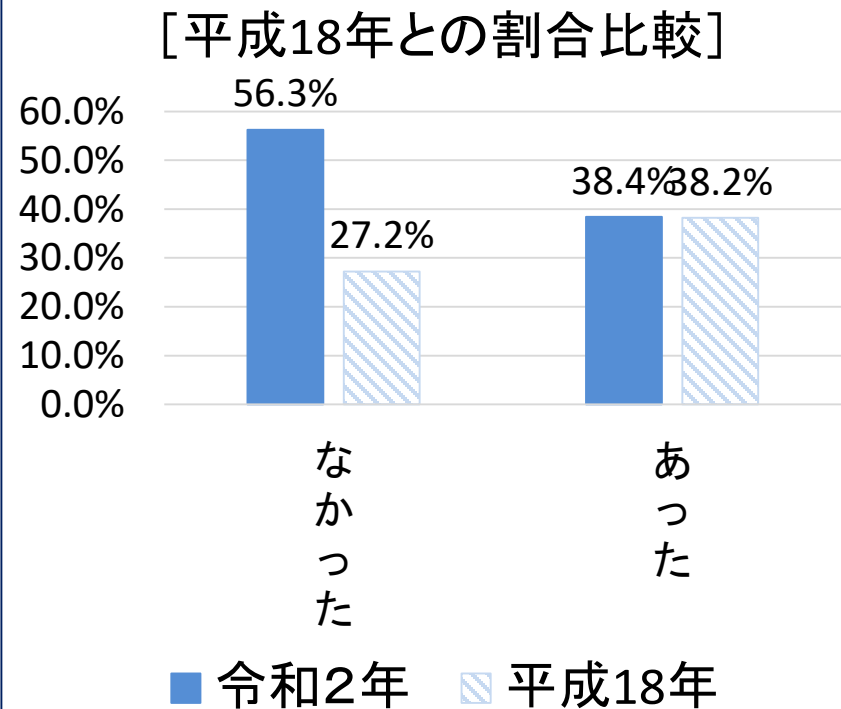


PMDAのホームページでの手続き等の案内でわかりにくいと思われたものについては、専門用語が多いが85人で6.6%、自分に必要な書類がわからなかったが228人で17.8%、どこを見たらよいかわからなかったが123人で9.6%、わかりにくい点は特になかったが565人で44.1%などとなっている。

医療費・医療手当の救済給付を請求できなかった期間の有無 [平成18年との割合比較]



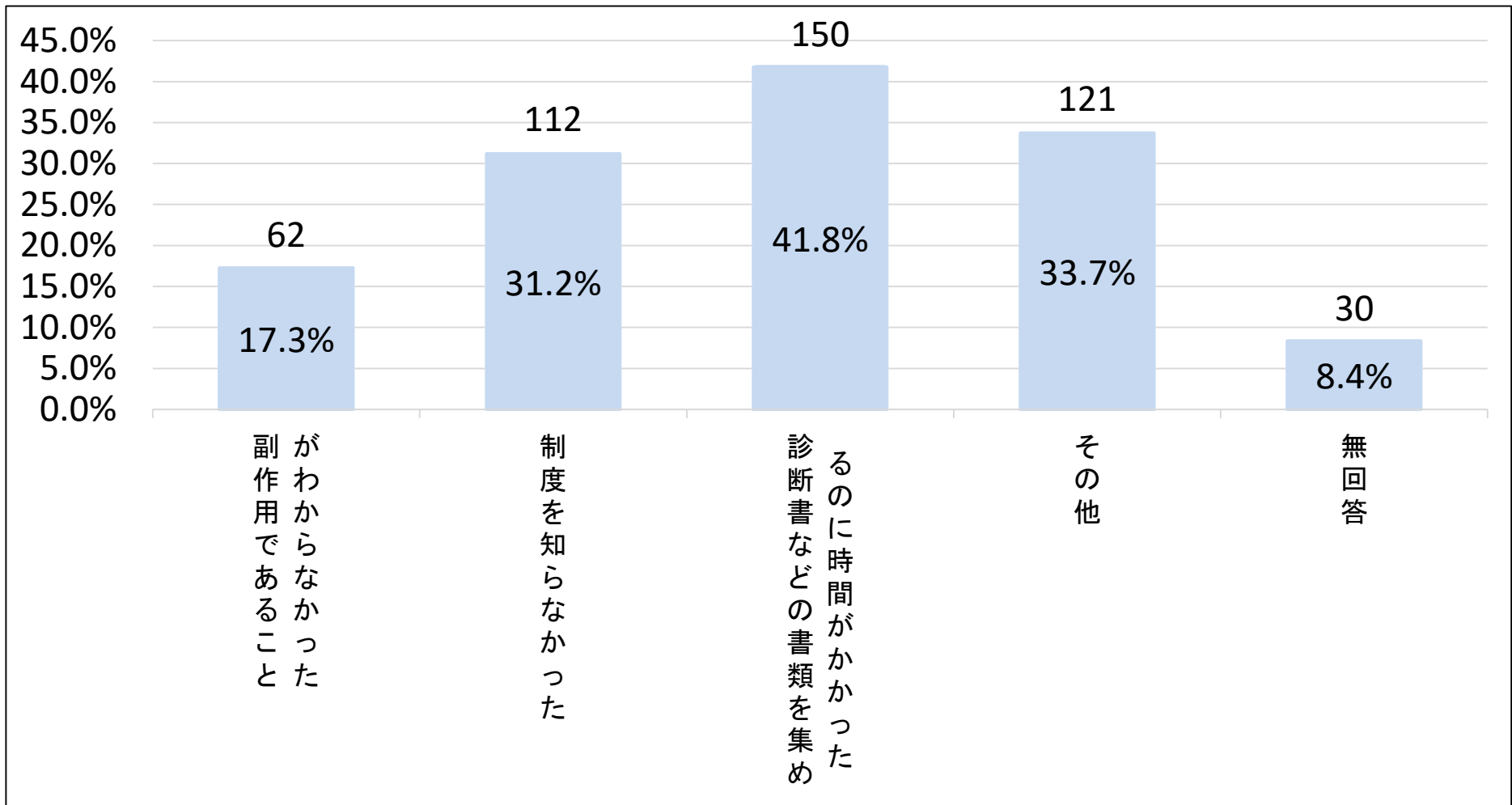
障害年金・障害児養育年金の救済給付を請求できなかった期間の有無 [平成18年との割合比較]



医療費・医療手当の請求に関して、平成18年の調査結果と比較すると、請求できなかった期間がなかったと回答した者の割合が大幅に増えた。

障害年金・障害児養育年金の請求に関して、平成18年の調査結果と比較すると、請求できなかった期間がなかったと回答した者の割合が大幅に増えた。

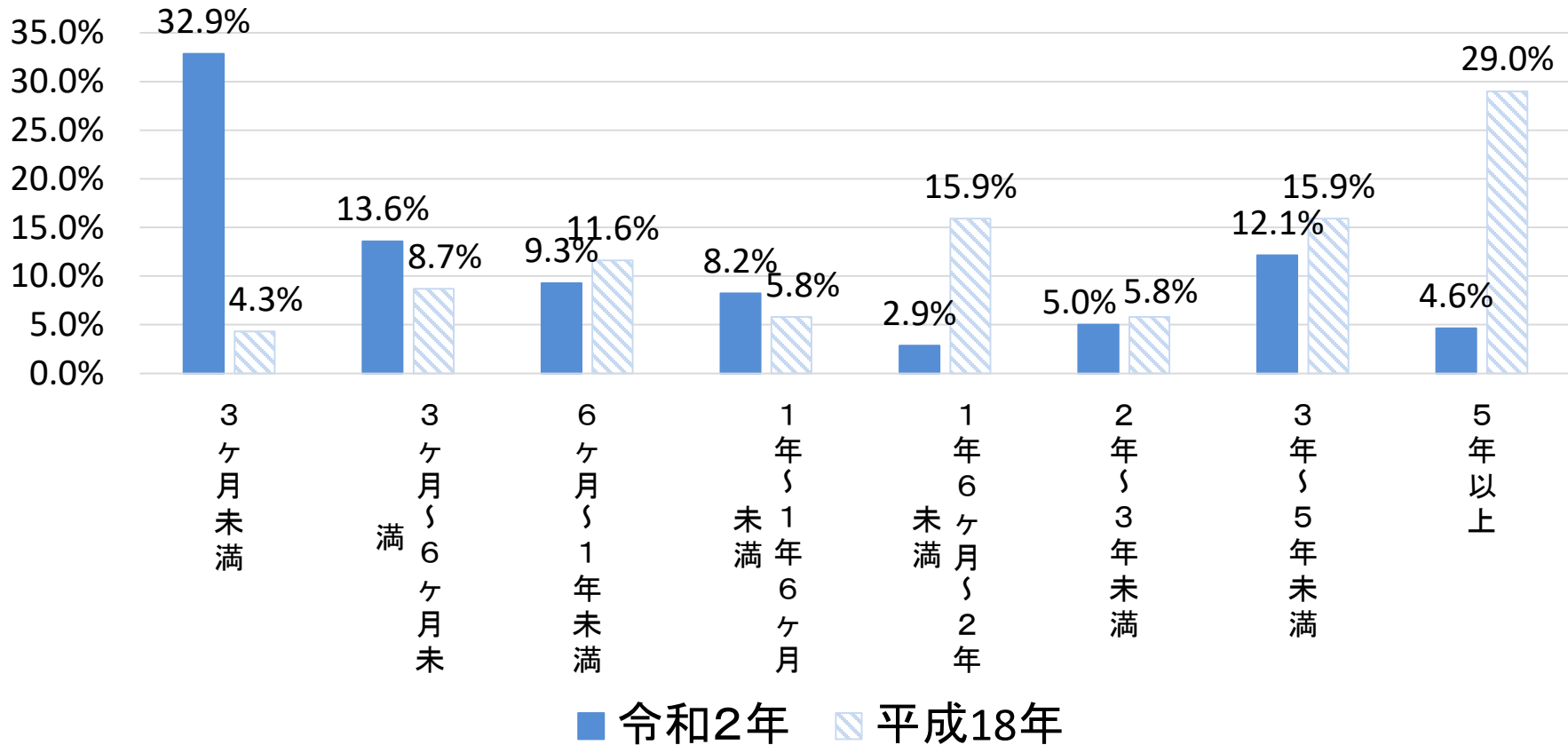
請求できなかった期間があった理由 【複数回答】



請求できない期間があった359人において、請求できなかった期間があった理由については、副作用であることがわからなかったが62人で17.3%、制度を知らなかったが112人で31.2%、診断書などの書類を集めるのに時間がかかったが150人で41.8%などとなっている

医療費・医療手当の救済給付を請求 できなかった期間（通算）

[平成18年との割合比較]

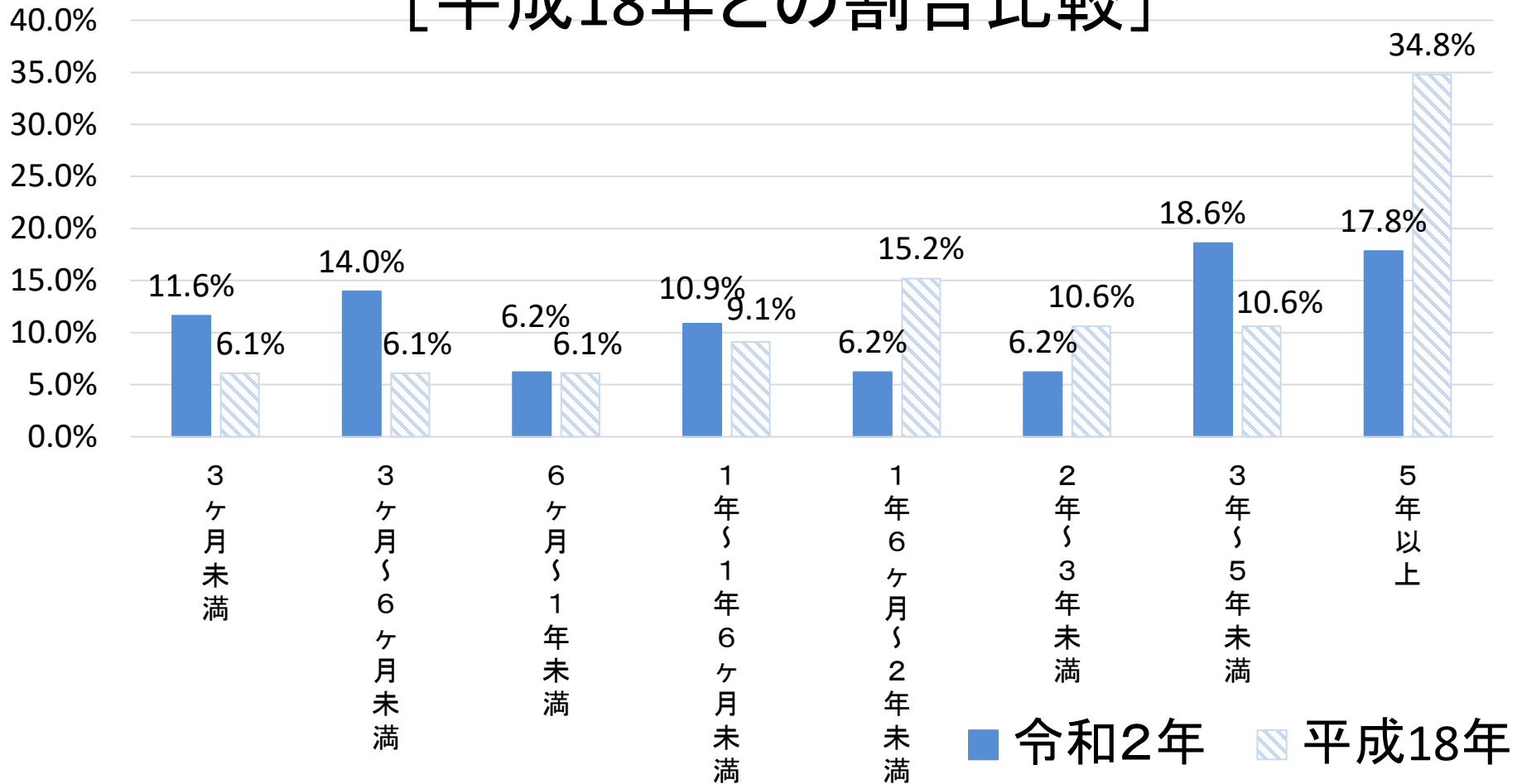


医療費・医療手当の請求できなかった期間について、平成18年の調査結果と比較すると、請求できなかった期間が長期間に及んだ者の割合は減少し、短期間であった者の割合が大きく増加している。



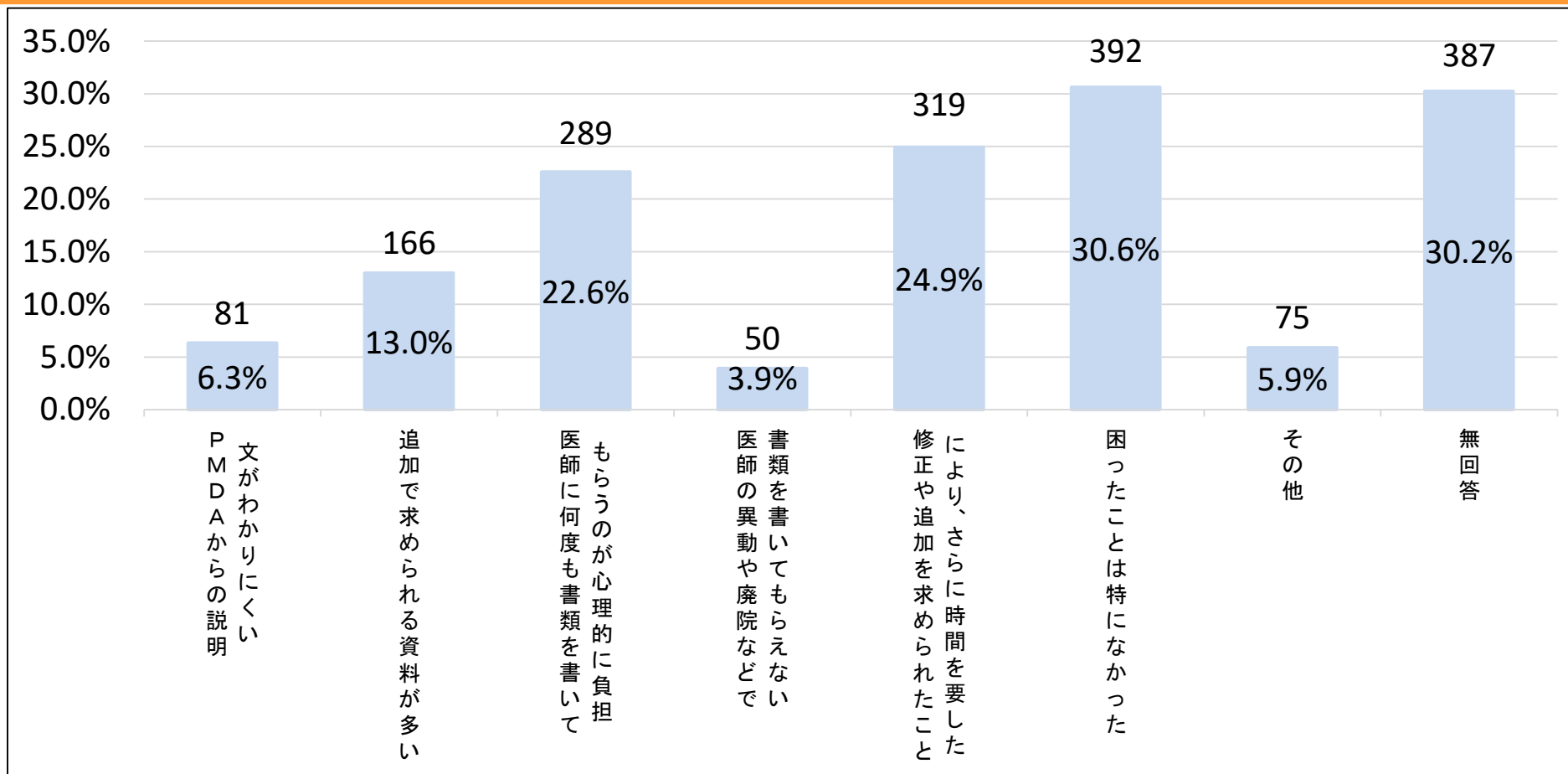
障害年金・障害児養育年金の救済給付を 請求できなかった期間(通算)

[平成18年との割合比較]



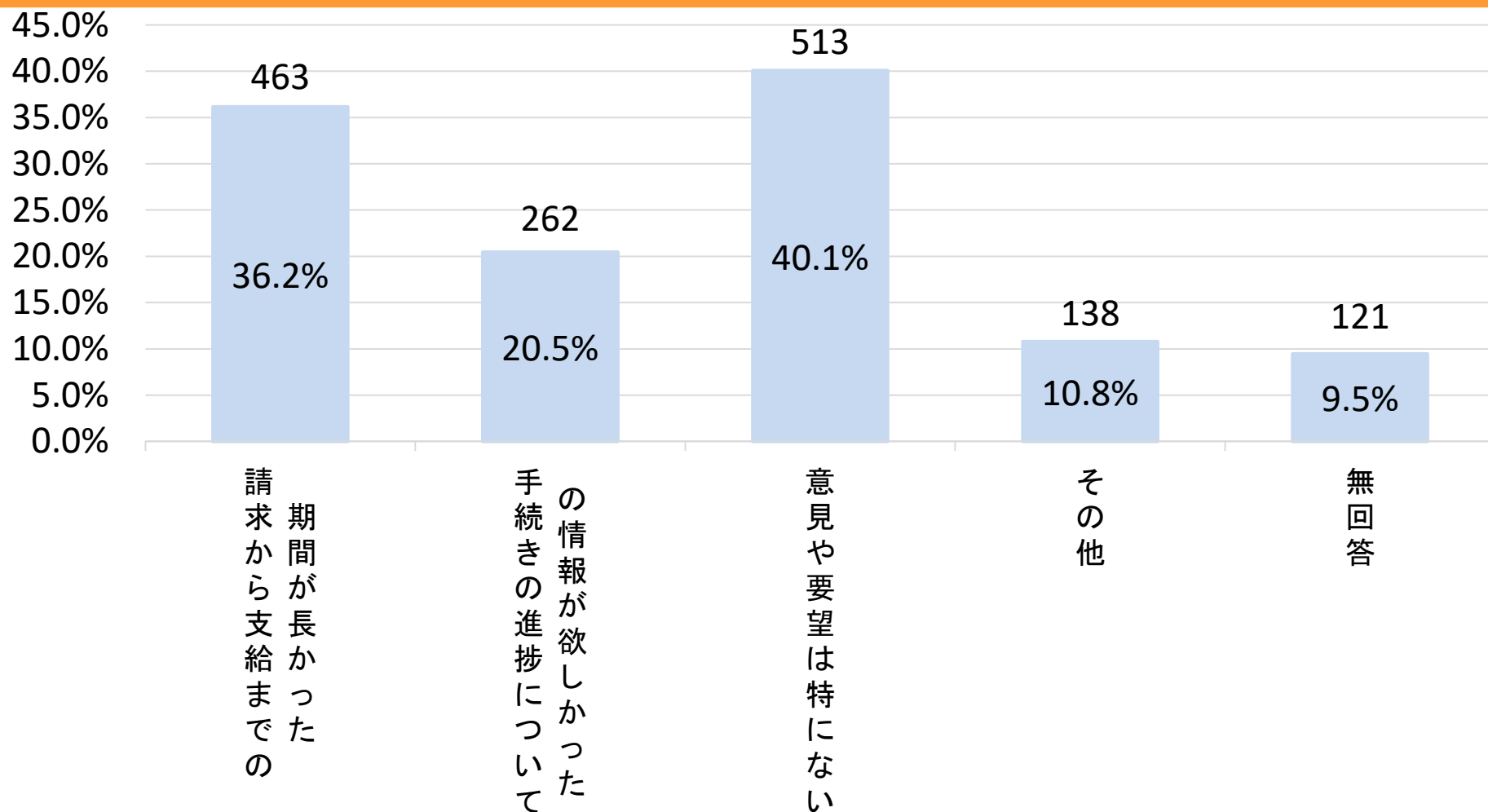
障害年金・障害児養育年金の請求ができなかった期間について、平成18年の調査結果と比較すると、5年以上、2年～3年未満、1年6ヶ月～2年未満がそれぞれ減少しているが、3年～5年未満や1年6ヶ月未満は割合が増加している。

給付請求書類を提出後、修正や追加の書類を求められた際に困ったこと 【複数回答】



給付請求書類を提出された後、修正や追加の書類を求められた経験がある方において、困ったことについては、PMDAからの説明文がわかりにくいのが81人で6.3%、追加で求められる資料が多いのが166人で13.0%、医師に何度も書類を書いてもらうのが心理的に負担が289人で22.6%、医師の異動や病院などで書類を書いてもらえないのが50人で3.9%などとなっている。

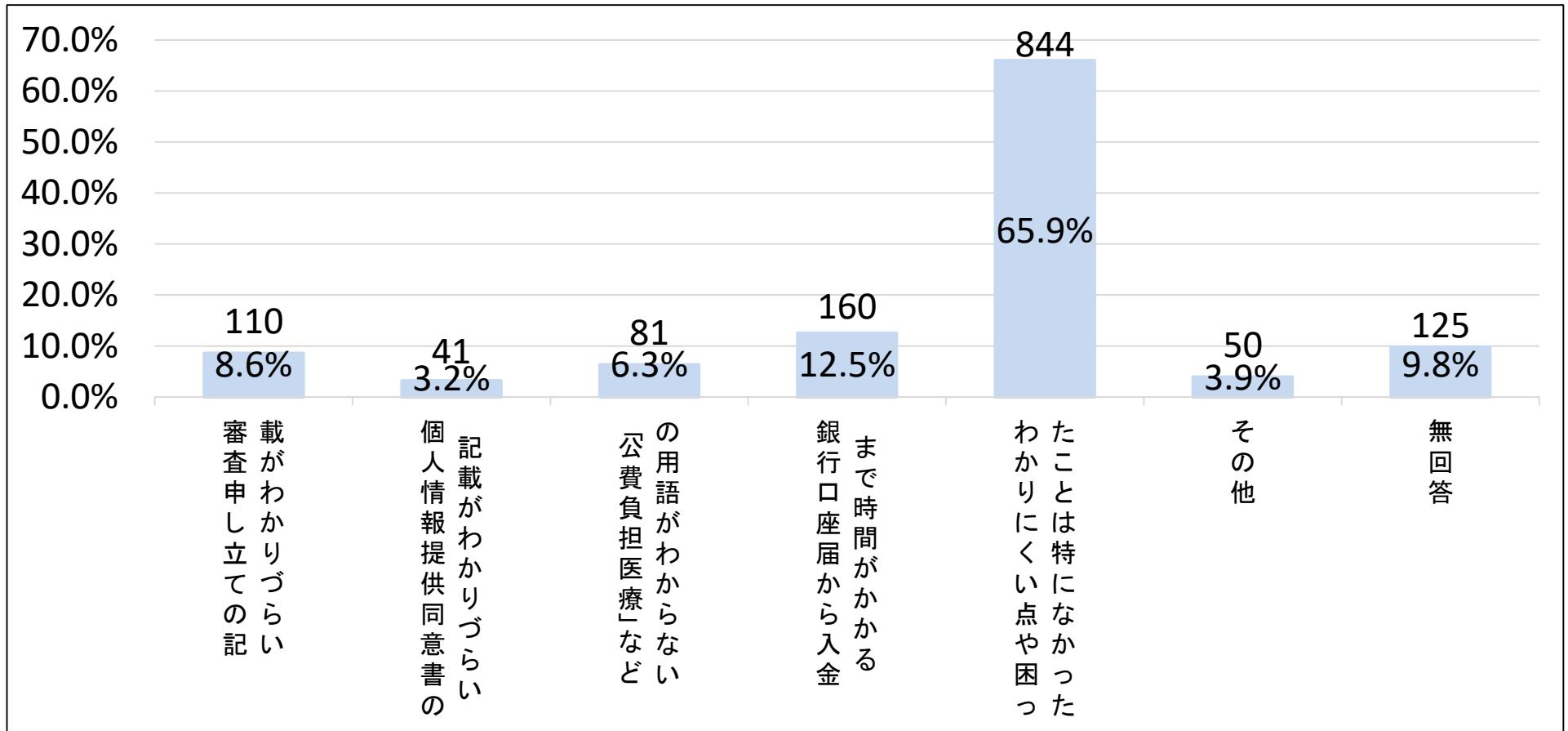
請求から支給までの手続き全般についての意見・要望 【複数回答】



請求から支給までの手続き全般に関する意見・要望については、請求から支給までの期間が長かったが463人で36.2%、手続きの進捗についての情報が欲しかったが262人で20.5%で、意見や要望は特にないが513人で40.1%などとなっている。

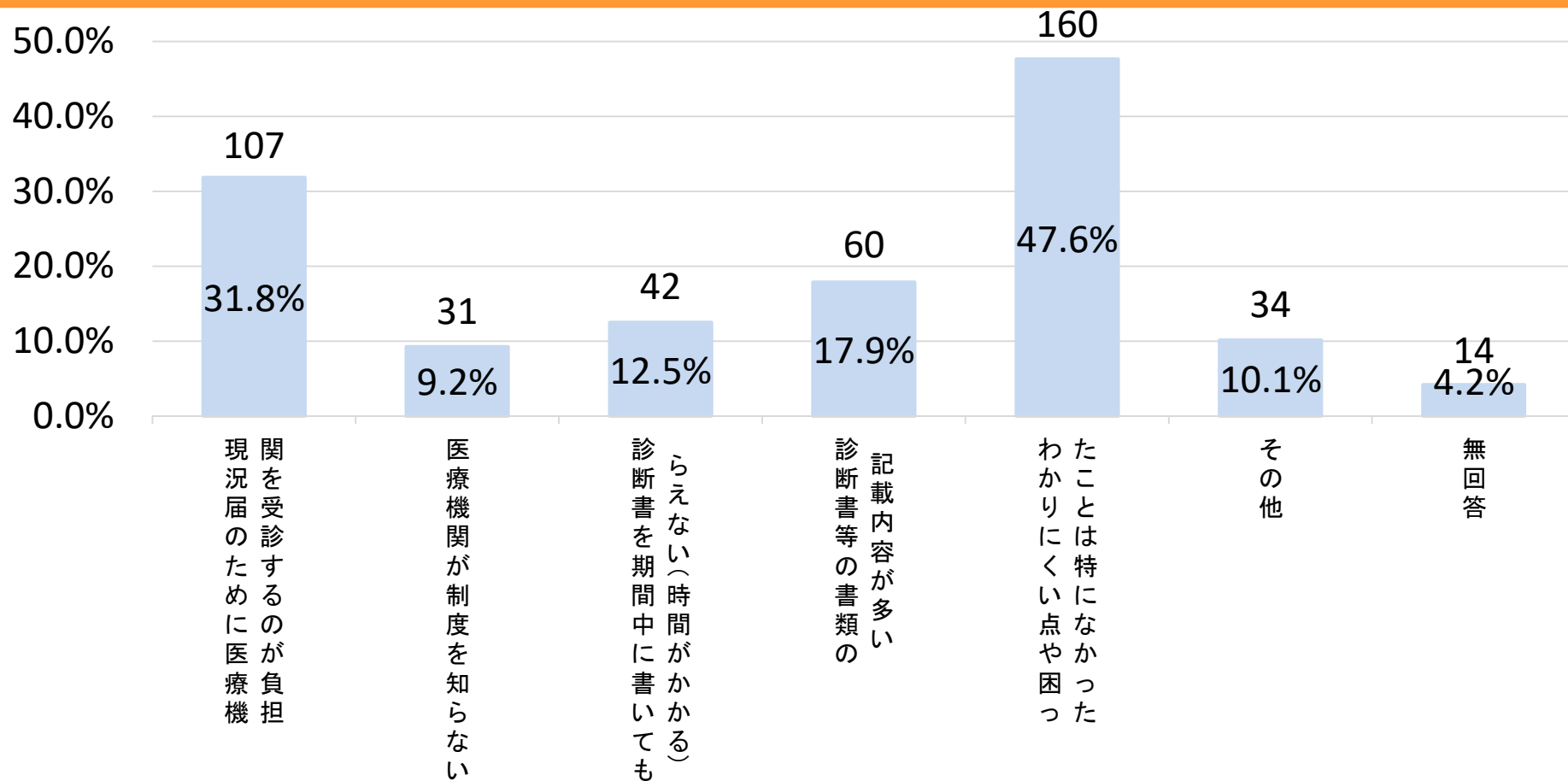


支給決定通知書受け取り後、医療費・医療手当、年金等が支給されるまでの手続き等についてわかりにくいと思われたものや困ったこと【複数回答】



支給決定通知書を受け取られてから、医療費・医療手当、年金等が支給されるまでの手続き等について、わかりにくいと思われたものや困ったことについては、審査申し立ての記載がわかりづらいが110人で8.6%、個人情報提供同意書の記載がわかりづらいが41人で3.2%、「公費負担医療」などの用語がわからないが81人で6.3%、銀行口座届から入金まで時間がかかるが160人で12.5%、わかりにくい点は特になかったが844人で65.9%などとなっている。

年金(障害年金や障害児養育年金)を受給されている方で、現況届についてわかりにくいと思われたものや困ったこと 【複数回答】

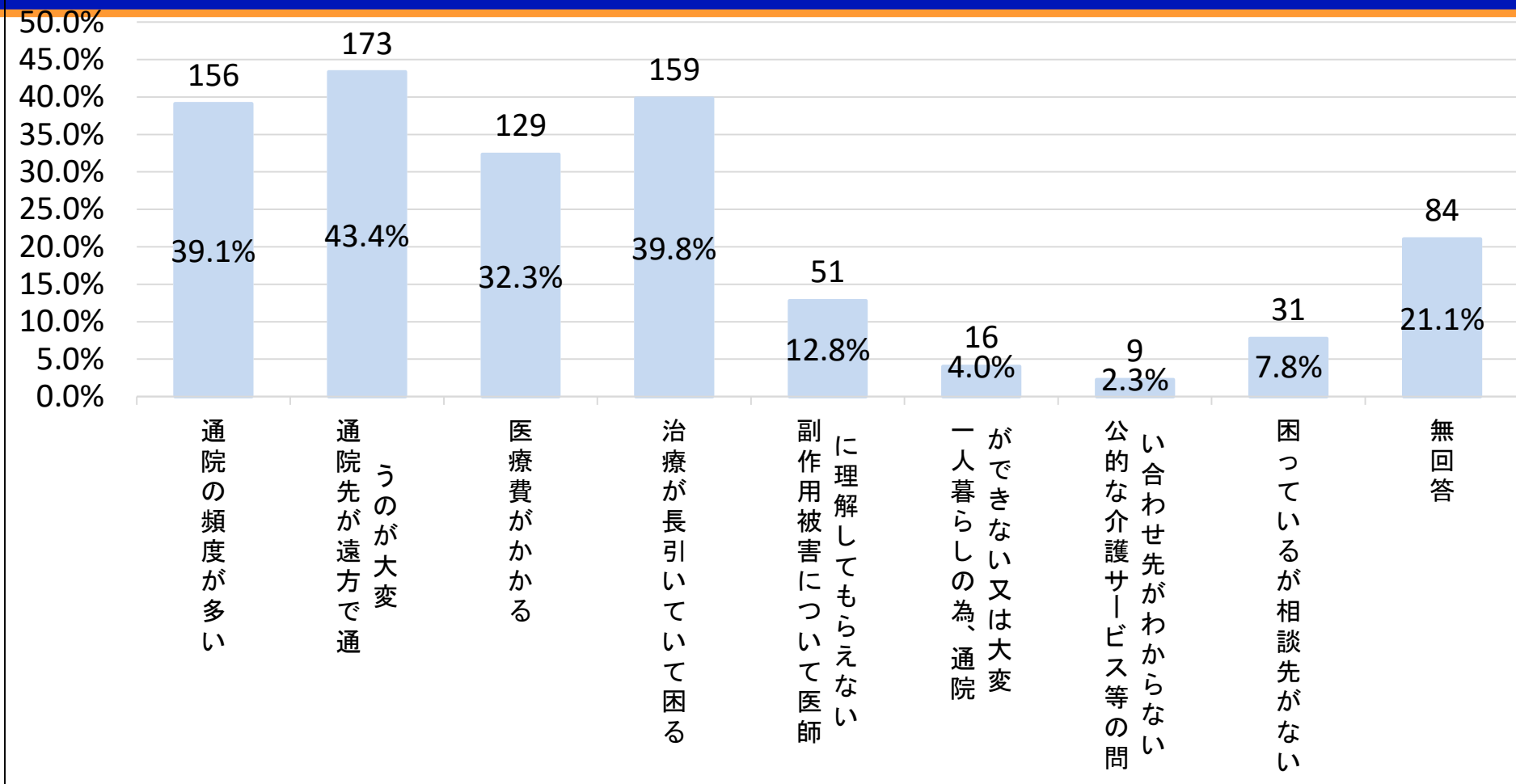


年金(障害年金または障害児養育年金)を受給されている336人において、毎年提出いただく現況届に関してわかりにくいと思われたものや困ったことについては、現況届のために医療機関を受診するのが負担が107人で31.8%、医療機関が制度を知らないが31人で9.2%、診断書を期間中に書いてもらえない(時間がかかる)が42人で12.5%、診断書等の書類の記載内容が多いが60人で17.9%でした。わかりにくい点は特になかったが160人で47.6%などとなっている。



③健康被害を受けた方の健康状態 、治療状況等について

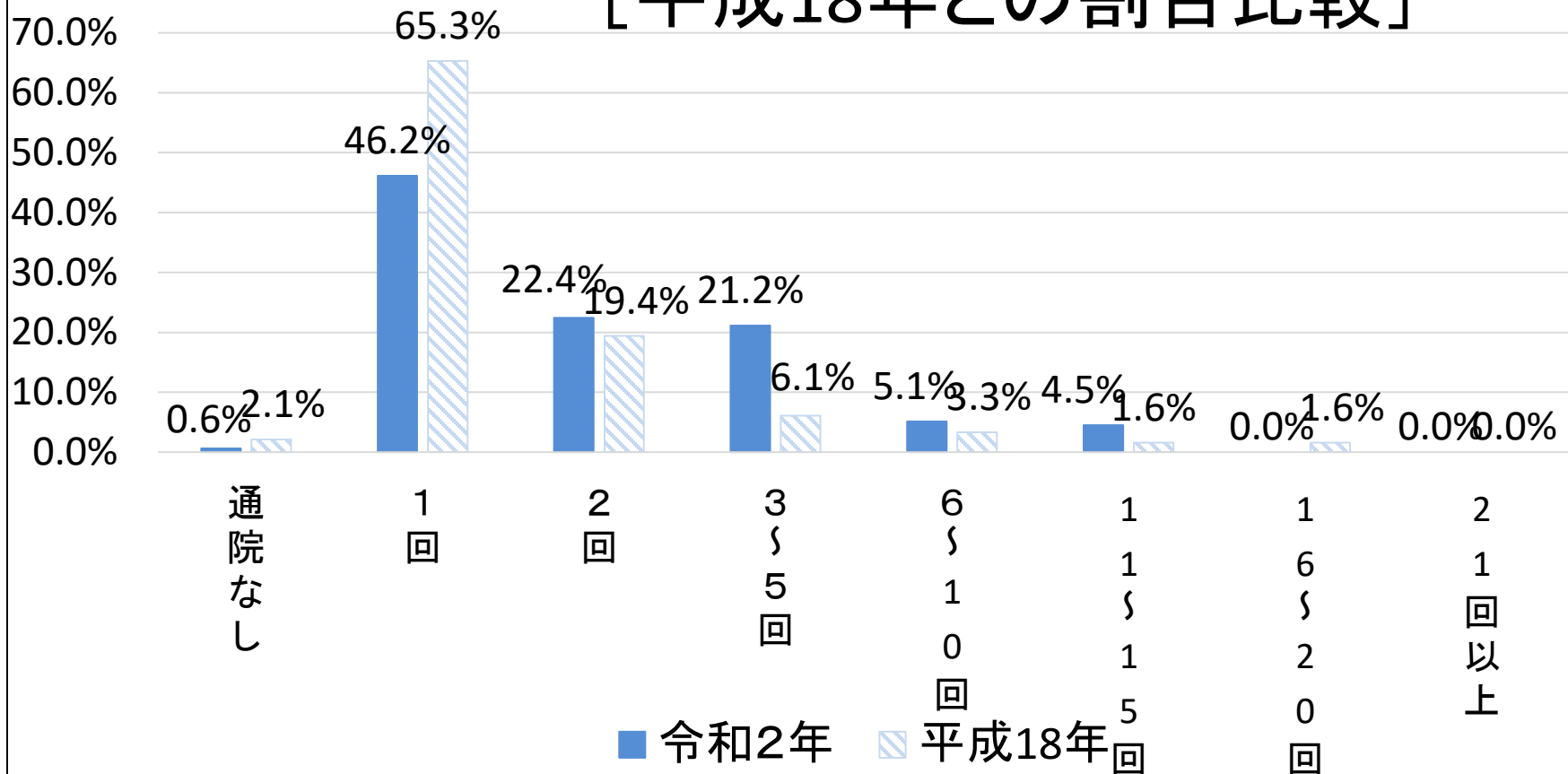
副作用による健康被害が続いている方で、困っていること 【複数回答】



副作用による健康被害が続いている399人において、困っていることについては、通院の頻度が多いが156人で39.1%、通院先が遠方で通うのが大変が173人で43.4%、医療費がかかるが129人で32.3%、治療が長引いていて困るが159人で39.8%、副作用被害について医師に理解してもらえないが51人で12.8%などとなっている。

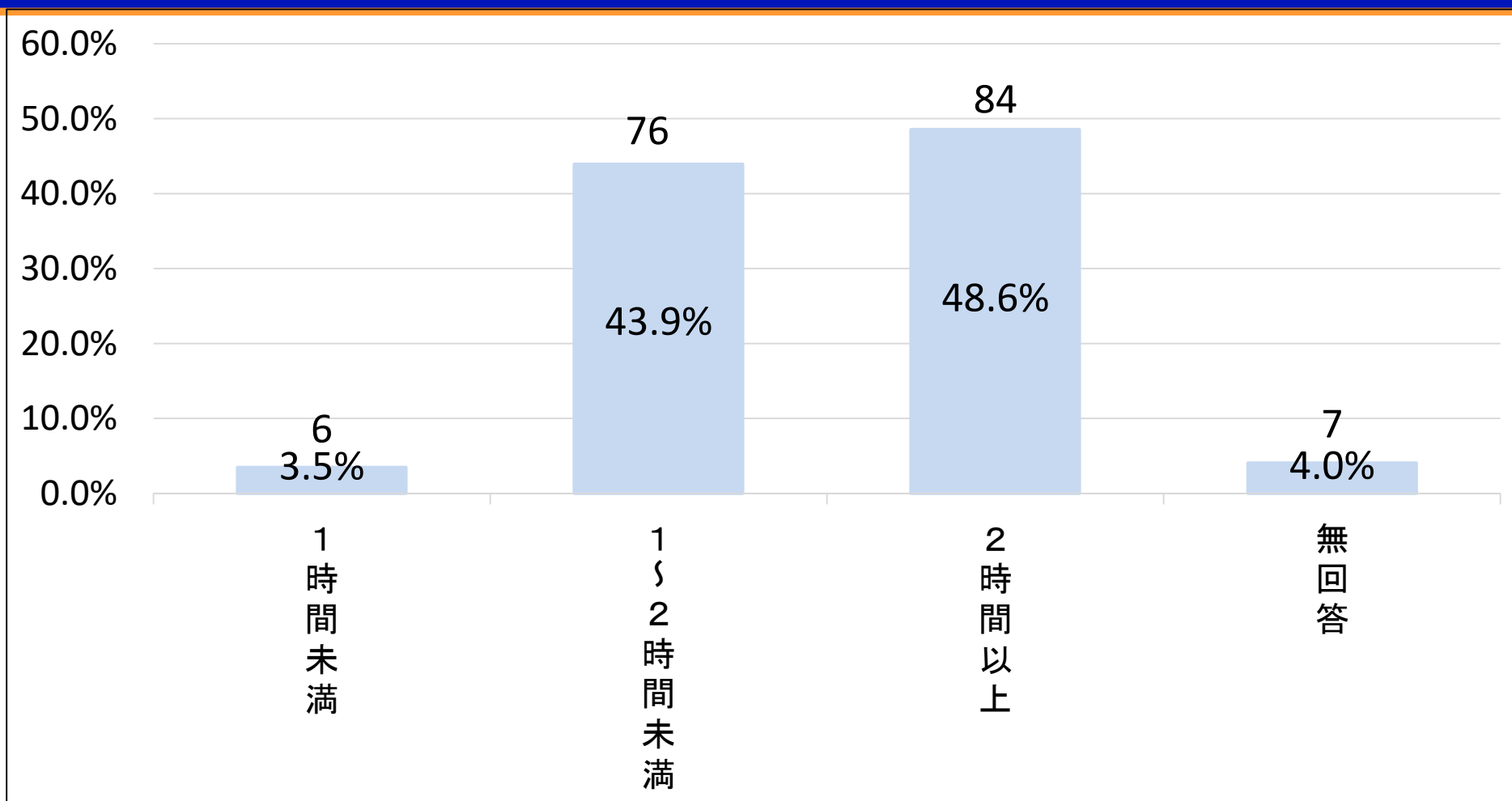
1月あたりの通院回数

[平成18年との割合比較]



「1月あたりの通院回数」については、通院の頻度が多いと答えた 156人のうち、月1回が46.2%、月2回が22.4%、月3～5回が21.2%などとなっている。平成18年の調査結果と比較すると、月1回は減少して月2回等の割合が増加している。1月あたりの通院回数の平均としてみると、3.3回から2.6回に減少している。

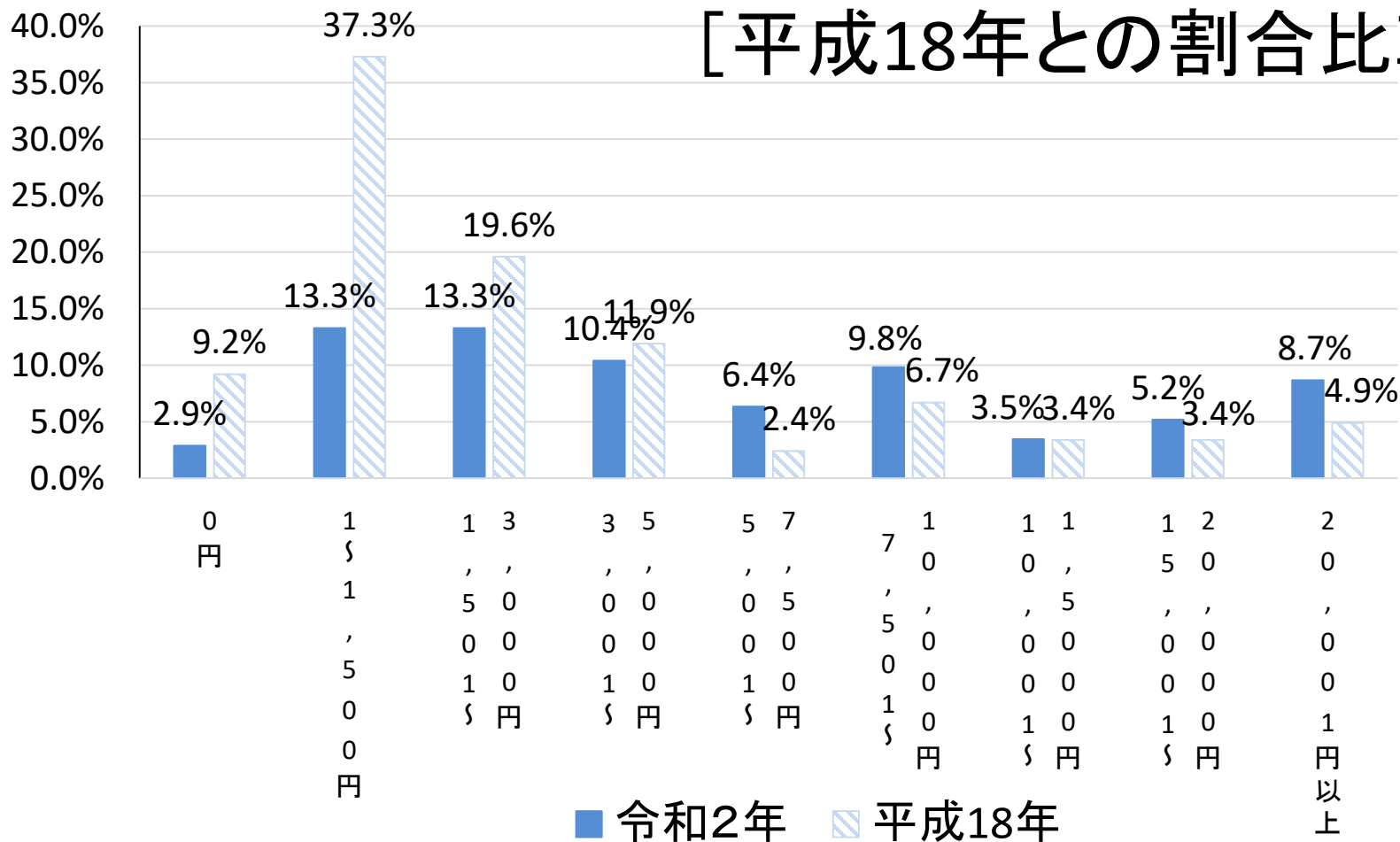
通院に要する時間(片道)



「通院に要する時間(片道)」については、通院先が遠方で通うのが大変と答えた173人のうち、片道1時間未満が6人で3.5%、1〜2時間未満が76人で43.9%、2時間以上が84人で48.6%などとなっている。

1月あたりの交通費

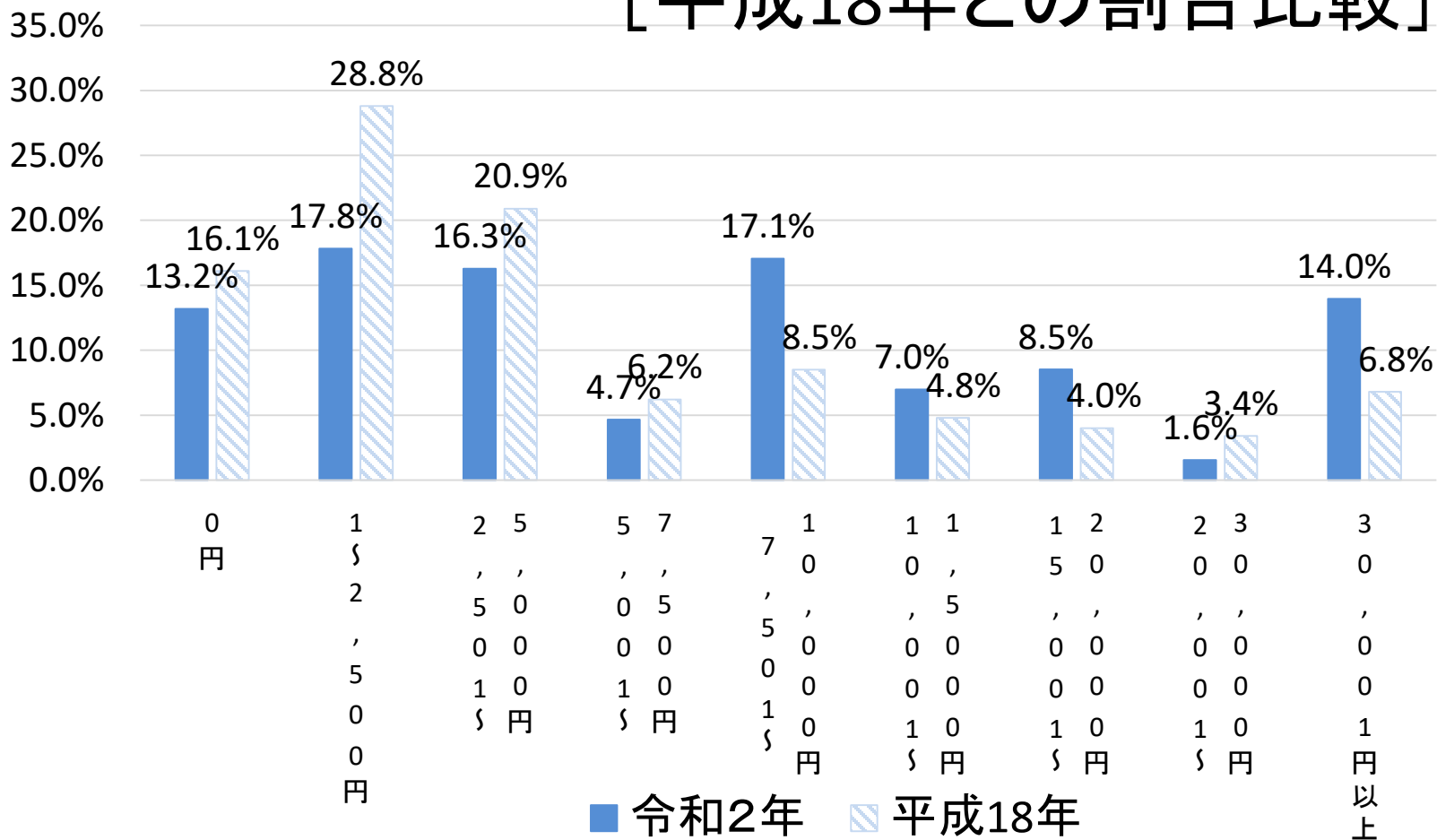
[平成18年との割合比較]



平成18年の調査結果と比較すると、高額割合が増加、1月あたりの平均も5,546円から10,142円と、交通費の負担が増加している傾向が窺える。

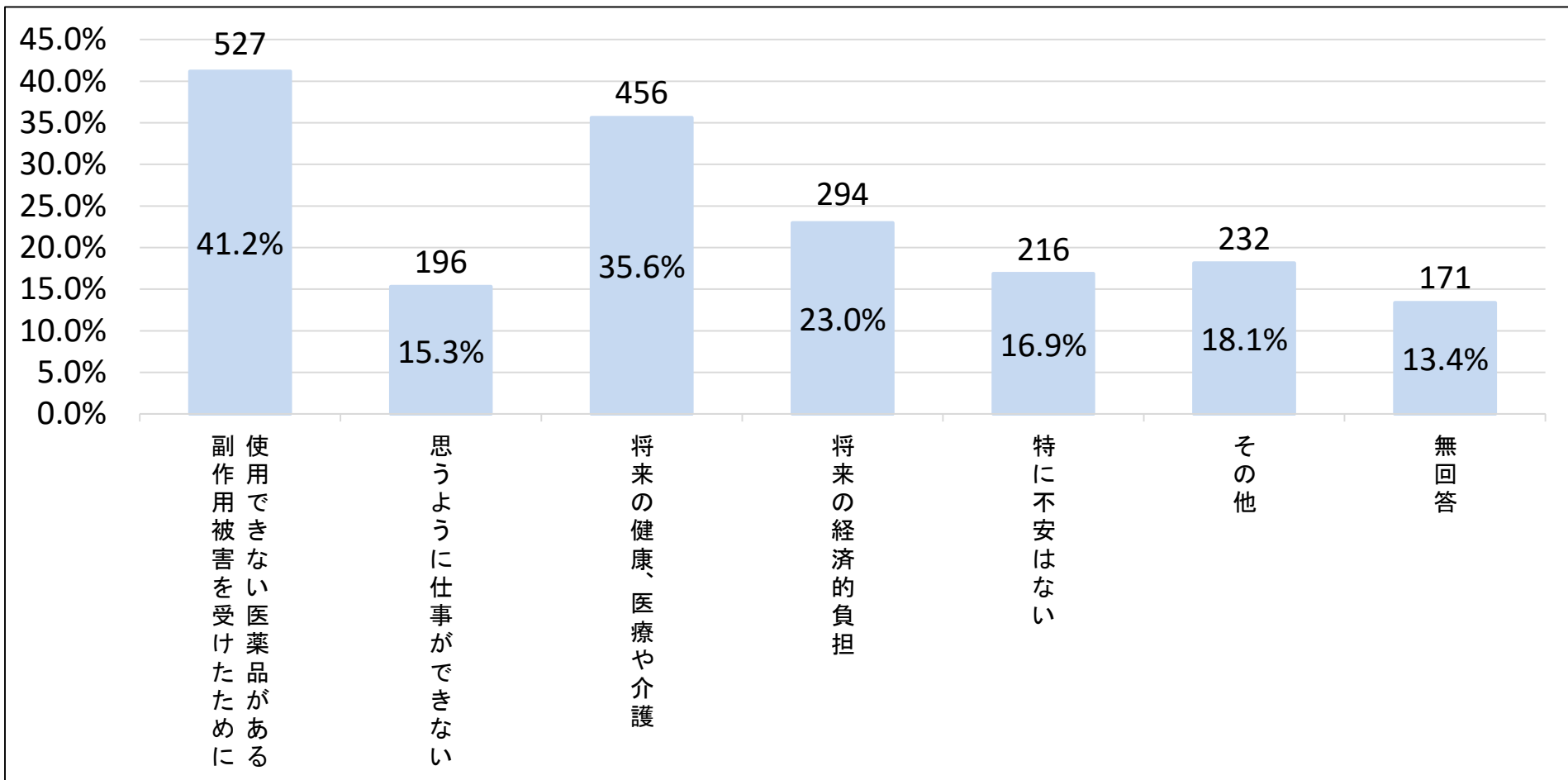
1月あたりの医療費の自己負担額

[平成18年との割合比較]



平成18年の調査結果と比較すると、高額割合が増加、1月あたりの平均も12,424円から26,062円に増加しており、自己負担が多くなっている傾向が窺える。

現在、どのようなことに不安を感じているか【複数回答】

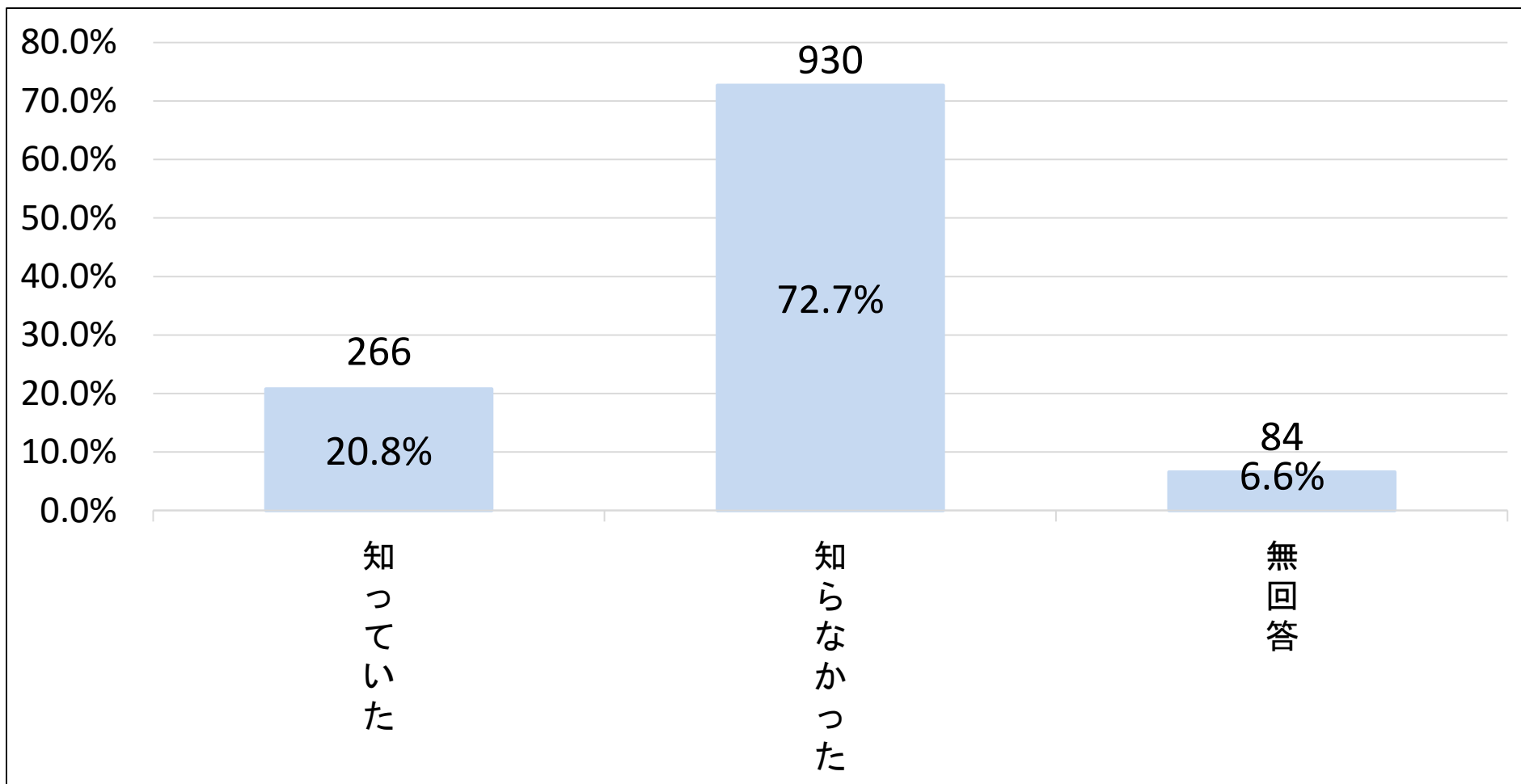


現在どのようなことに不安を感じているかについては、副作用被害を受けたために使用できない医薬品があるが527人で41.2%、思うように仕事ができないが196人で15.3%、将来の健康、医療や介護が456人で35.6%、将来の経済的負担が294人で23.0%、特に不安はないが216人で16.9%などとなった。



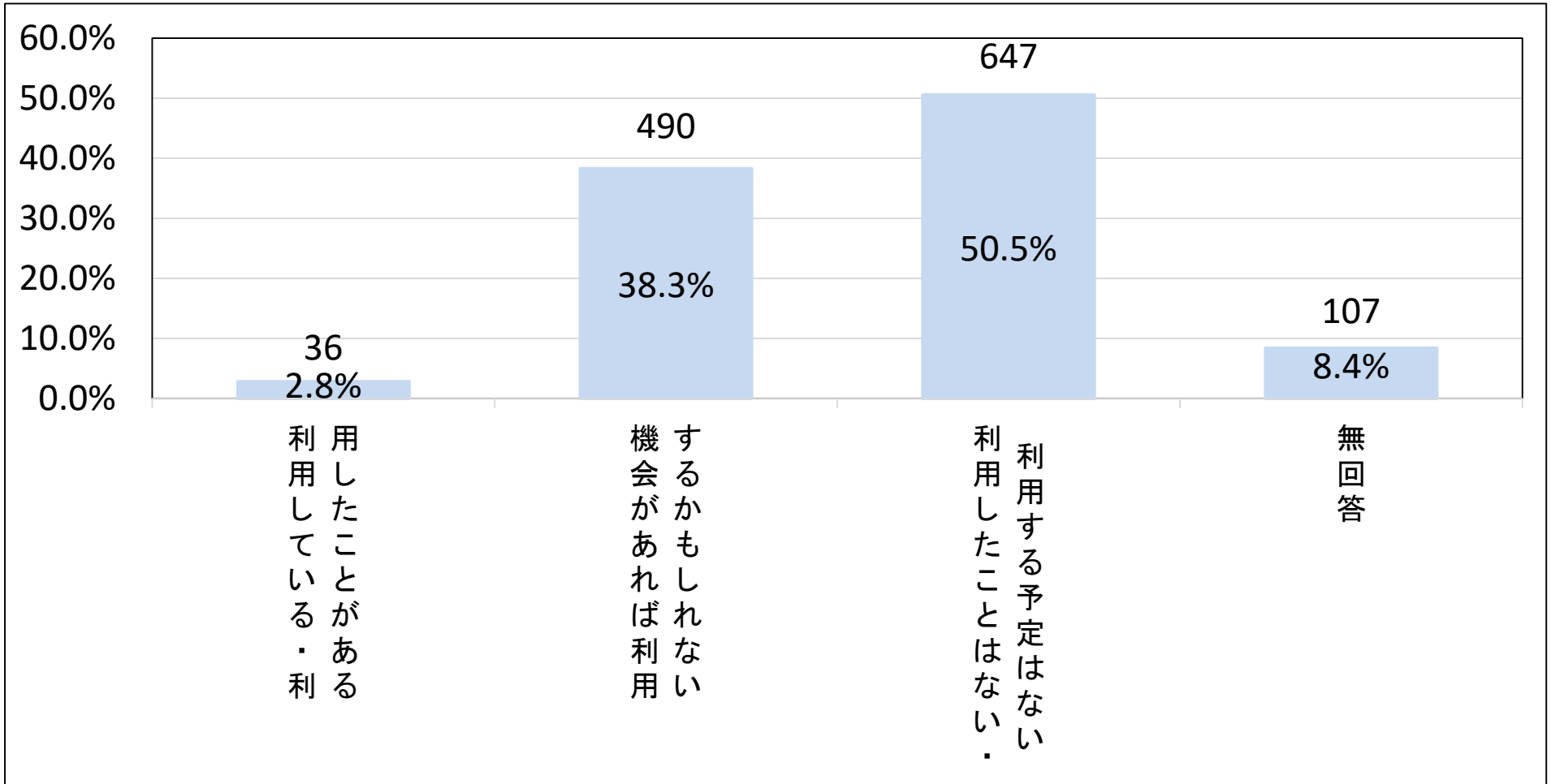
④精神面などに関する相談及び受給者カードについて

精神面などに関する相談(保健福祉相談)に対応する 電話相談窓口を設けていることを知っていたか



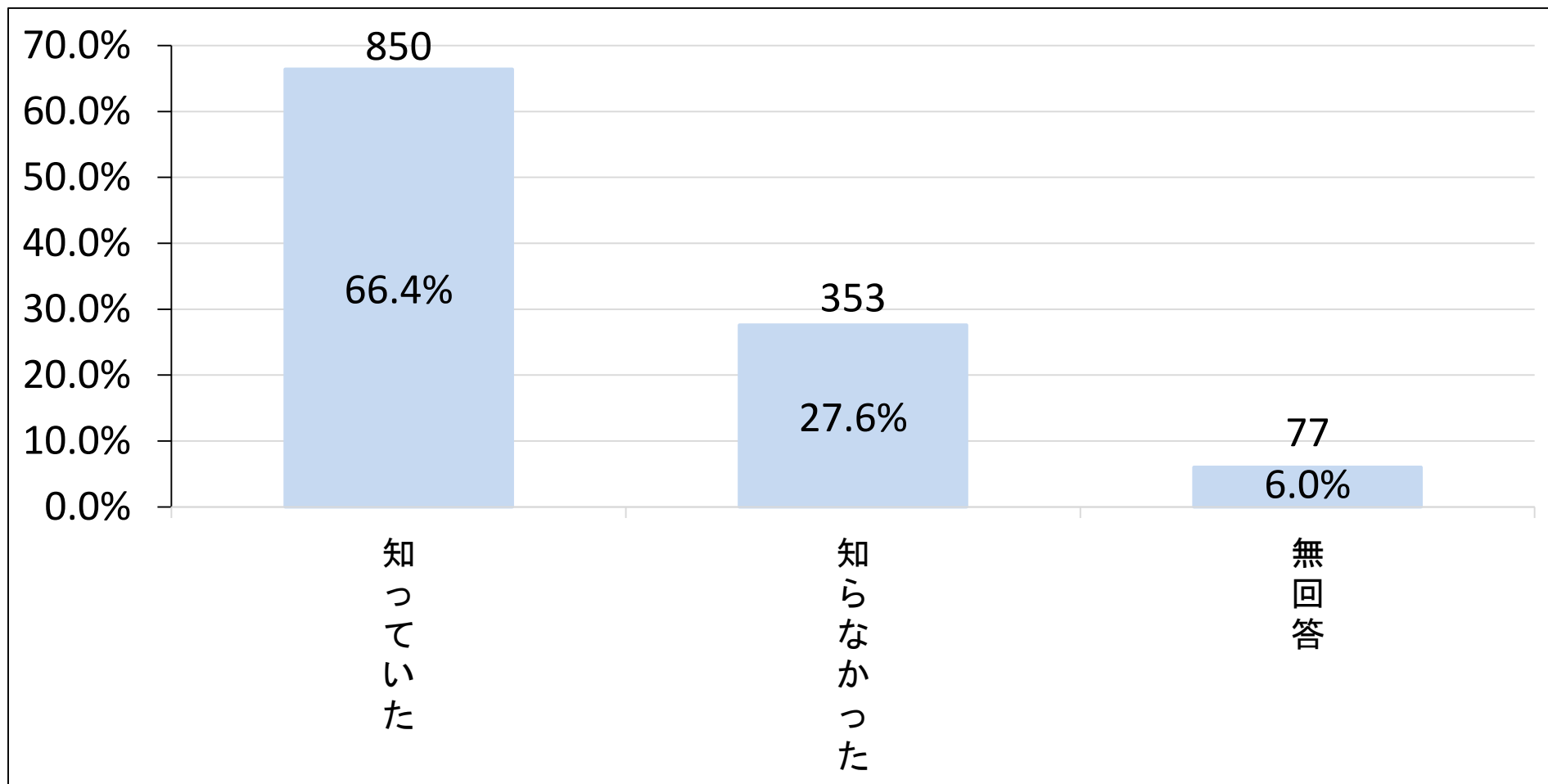
精神面などに関する相談(保健福祉相談)に対応する電話相談窓口を設けていることを知っていたかについては、知っていたが266人で20.8%、知らなかったが930人で72.7%となっている。

精神面などに関する相談窓口を利用したことがあるか



精神面などに関する相談窓口の利用の有無については、利用している・利用したことがあるが36人で2.8%、機会があれば利用するかもしれないが490人で38.3%、利用したことはない・利用する予定はないが647人で50.5%となっている。

副作用の原因となった薬や副作用によって起こった疾病を記載した「受給者カード」を知っているか

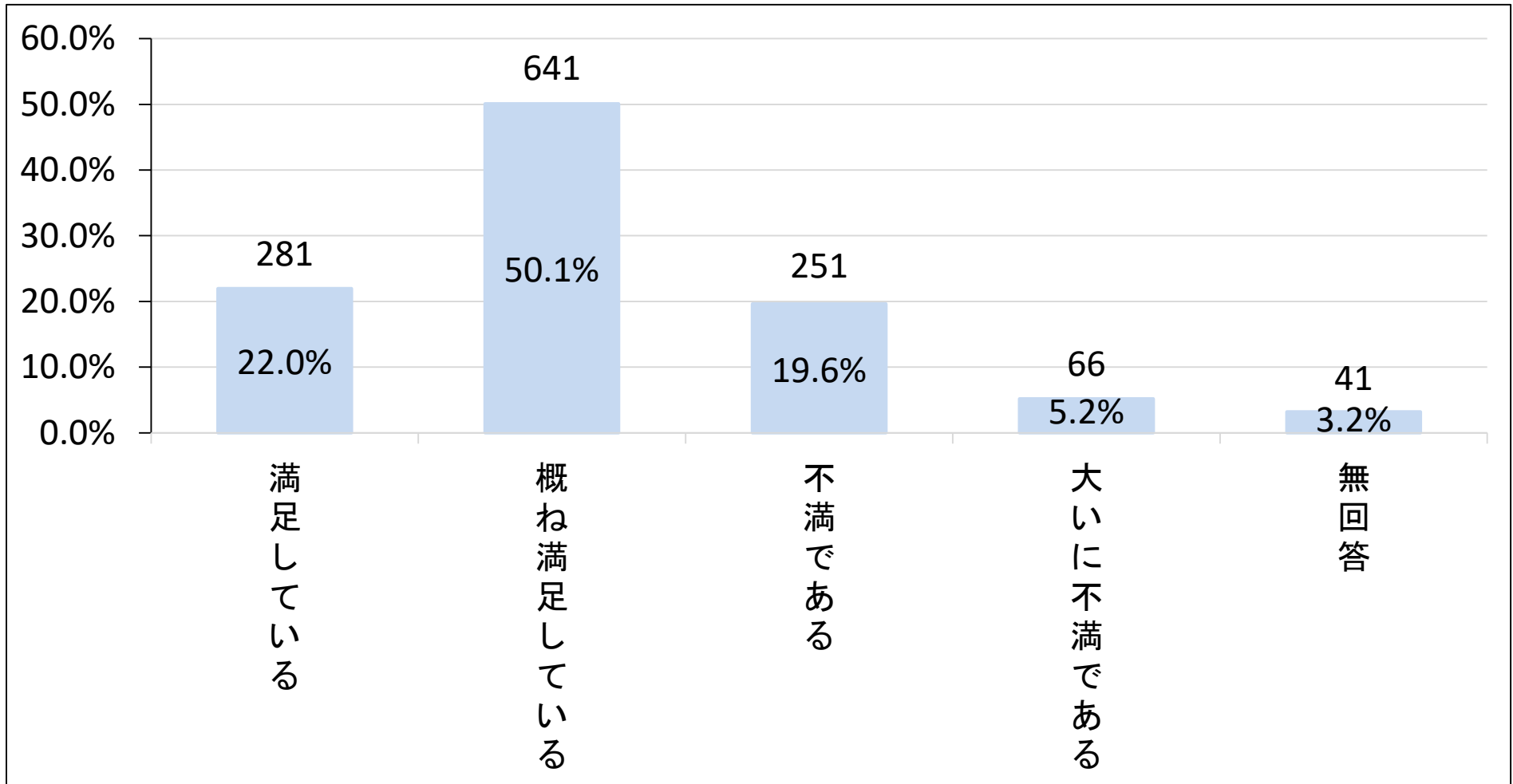


副作用の原因となった薬や副作用によって起こった疾病を記載した「受給者カード」を知っていたかについては、知っていたが850人で66.4%、知らなかったが353人で27.6%となっている。



⑤現在の救済制度について

現在の救済制度の満足度



現在の救済制度の満足度については、満足しているが281人で22.0%、概ね満足しているが641人で50.1%、不満であるが251人で19.6%、大いに不満であるが66人で5.2%となっている。



⑥救済制度への意見

①経済的に助かった	207件
②救済制度の周知・広報について	207件
・副作用で困っている方が多い反面、医療機関、医療従事者、患者にもあまり知られていない制度だと思います。	
・もっと周知して安心した治療に繋がればと思います。等	
③制度への賛同・感謝	201件
④医療機関(医師等)、薬局への意見	56件
⑤請求書類が多い、手続きまでが大変	49件
⑥その他の救済制度への意見・要望	37件
・対象や手続きの方法、支給金額等、分かりやすく示して欲しい。医師の診断書も含めて、書類はなるべく簡単にしたい。	
・健康被害の救済例や救済状況、救済対象になるのかどうかの判断条件等があれば、HP上に載せてほしい。	
⑦精神的に助かった	28件

⑧伝えたいこと	21件
・この制度を知った事で入院費用をまかなう事ができました。その為にももしかしてと思われる方は退院する時に病院側からもらうすべての資料を取っておく事をおすすめします。	
・初めて内服する薬は慎重にと伝えたい。	
・処方薬について、患者側ももっと学ぶ必要を感じている。	
・自分の病気を申請することにより、前例の一つとなることができた。	
・市販薬の危険性も知ってほしい。	
⑨支給金額が少ない	8件
⑩薬の使用を控えている、薬を使うのが不安	7件
⑪相談窓口について	6件
⑫請求期限の延長	1件
⑬その他	31件
・副作用であると認められた事は良かったが、だからといって何のメリットもない(病状が改善するわけでもなく、治療もできない)	
・自分は今は薬に効きやすい身だと良く分かりました。とっっても気を付けています。	
・短期間の入院ならばこの制度をすすめない。今は手続きしたことを後悔している。	
⑭特になし	2件

①救済制度の周知・広報について

232件

- ・病院の受付や病院を利用する際にすぐ目に入るような箇所にポスターやパンフレット等を設置するなど徹底してほしい。
- ・後になり薬局にポスターが貼ってあることに気づきました。口頭でお知らせしてもらえないならせめておくすり手帳にこういう制度があることを印字して下さい。
- ・書類を病院に記入してもらう際、「このような書類は初めてなので時間がかかる」と言われた。そもそも制度を知らなかったらしい。国民の認知度を上げて欲しいとも思うが、まず医療現場で周知されていないと制度を利用する時の不便さは解消されないと思う。
- ・高齢の人にももっと分かりやすく請求しやすい制度になればいいと思う。インターネットを使わない人には難しい制度だと思う。
- ・明らかに副作用被害があるときは医療機関側からPMDAの存在を教えていただきたい。PMDAという存在をたまたまネット検索で見つけましたが、知らなければ給付を受けていない。
- ・とても素晴らしい制度なので、もっと手軽に多くの人(医療関係の方、薬を使う方)に広がってもらいたいです。
- ・副作用の治療をした医療機関の医師と薬剤師で制度の案内をして欲しい。
- ・自身の場合は、インターネット検索で幸いにも救済制度を知る事が出来たが、救済制度を知らず金銭面や心理面で辛い状態の人も居ると思う。医師や病院が救済制度を知り、救済制度の対象となりそうな人には制度を紹介されるようになれば良いと思う。

②救済制度への意見・要望

77件

- ・この制度を利用してから当人と同じ薬でどれほどの方が被害を受けておられるのか、いつも気になっています。ホームページを訪れてたびたび毎月、年度ごとのデータを拝見しています。当人と同じ薬剤での被害を探すのですが薬剤ごとに検索が出来れば助かります。
- ・救済を受ける人は身体的なダメージだけでなく精神的なストレスも大きいです。対応する担当者はそこを理解して患者サイドに立った対応をお願いしたいです。
- ・書類ではなく、オンライン申請もあると良い。
- ・診断書の料金(一通、税抜き4,000～10,000円)が病院によって違うので、全部揃えるとかなりの額になるため、救済制度に提出する診断書料を統一、又は制度で負担して頂けると助かる。
- ・病院で処置中に副作用が起こった場合、病院から製薬会社へ、製薬会社からPMDAへ副作用の報告がされるはずなので、該当する患者にこの救済制度の手続きがされているかどうか、また病院側の記入書類は、患者が申請しなくても病院が直接PMDAに提出するような方法になれば患者側の負担が少なくなるのではないかと思います。
- ・書類をできれば墨字と点字があれば、本人も読めますので助かります。
- ・3か月に1度、半年に1度でも良いので身辺、健康の事を「お元気ですか？」とTELでもメールでも頂けるとありがたいです。
- ・独立行政法人医薬品医療機器総合機構という名称もPMDAという呼称も覚えづらくまた、言いづらいのが認知度が上がらない一因かも知れません。
- ・一般の人にも薬剤副作用の怖さを知って頂く必要があると思います。
- ・自分が当てはまるかそうでないかの判断基準・ラインが分かりにくいので、実際受給されている方の例や当てはまる薬の種類が提示されているとより伝わりやすいと思う。

③請求手続書類が多い・までが大変	68件
④制度への賛同・感謝	47件
⑤請求から給付まで時間がかかる	29件
⑥支給金額が少ない	20件
⑦今後の不安	15件
⑧PMDAから届くお知らせについて	8件
<ul style="list-style-type: none"> ・案内等、通知等簡易書留で送られるケースが多いが、普通郵便・メール等でも代替えできるのではないか。 ・書類を受理しましたというやりとりが何回もあり、郵便代金もったいないと感じた。 ・審査に時間がかかる旨の通知を頂いたがもう少し早く進捗状況の知らせが欲しかった。 ・副作用との結果に至るまでの経緯を知りたかったが、教えてもらえなかった。認められました、だけでは不十分かと思う。 	
⑨問い合わせについて	4件
<ul style="list-style-type: none"> ・お電話して質問することも考えましたが上手くお話できるかわからず不安でかけることができません。 ・フリーダイヤルがありますが、部署違いだといい、03-〇〇〇へおかけ直してくださいなどと言われます。すべての部署につながるよう改善していただきたい。 	
⑩その他	54件